

I-1 学部・学科の教育目的・目標

学部・学科の 教育目的・目標

社会福祉学部は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立および生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、多職種との連携、協働して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた福祉専門職者を養成することを目的とする。

学部の教育目的を達成するために以下のように教育目標を掲げる。

- (1) キリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」について理解し、専門職としての高い倫理観に基づく態度を身につける。
- (2) さまざまな対象者の有する背景や課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な教養と社会福祉分野の理論や知識を体系的に修得する。
- (3) 受容的・共感的態度を形成しつつ、社会福祉の基本的なコミュニケーションや支援の技術を修得する。
- (4) 対象者の特性に応じ基礎的な社会福祉分野（社会福祉・介護福祉・保育）の知識や技能、関連領域との知識を活用し、設定した課題について考察する力を身につける。
- (5) 実践の場で必要とされる社会福祉専門職としての理論や知識、技術等を総合的に活用し、対象者の課題解決につなげることができる力を身につける。
- (6) 対人援助・社会支援において、他者の役割が理解でき、自らの役割を果たしながら多種職や組織と連携・協働できるように人間性を養い、知識・技術を修得する。
- (7) 多様な文化や価値観を理解し、社会福祉に関する地域社会や国際社会に広く視野を広げ貢献できる力を身につける。

なお、小学校教諭、幼稚園教諭については、上記に加えて下記の通りとします。

- (1) 教育に関する確かな知識・理論や技能及び豊かな表現力を身につけている。
- (2) 教育者としてのふさわしい教養を身につけて、使命感と責任感に基づいた確かな実践力を備えている。

各学科の目的・目標は以下の通りである。

(1) 社会福祉学科

社会福祉学科は、地域と支援を必要とする人々の生活を理解し、科学的に評価するとともに、相談援助ならびに社会福祉サービスの開発および地域社会への働きかけを行う福祉専門職を養成することを目的とする。そのために必要な相談援助、社会福祉サービスの仕組みと開発、関係多職種および地域住民との連携、協働の知識と技術を修得することを目標とする。

(2) 介護福祉学科

介護福祉学科は、介護実践を通して生活支援を必要とする人々の生活を理解し、科学的に評価するとともに、介護福祉援助、相談援助ならびに介護福祉サービスの開発および地域社会への働きかけを行う福祉専門職を養成することを目的とする。そのために必要な介護福祉援助技術、介護福祉サービスの仕組みと開発、関係多職種との連携、協働の知識と技術を修得することを目標とする。

(3) こども教育福祉学科

こども教育福祉学科は、こどもに関わる国際水準の教育・保育の専門性と、こども・家庭・地域の福祉に関わる専門性を兼ね備え、国際的な視点に立って多様な人々が支え合い、学び合い、育ち合う地域共生社会を実現できる実践力をもったこども教育福祉の専門職の養成を目的とする。そのために必要な教育・保育・福祉の専門的な知識・技術・態度を修得することを目標とする。

I-2 学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

学部の学位授与の方針 (DP)

社会福祉学科・ 介護福祉学科

社会福祉学科と介護福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた社会福祉分野の専門職者を養成することを教育目的としています。

卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。

1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。
2. 社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。
3. 様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。
4. 自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探索・設定し、多面的に考察することができる。
5. 社会福祉分野の知識・技能を総合的に活用し、対象・課題に応じた支援を提供する実践力を身につけている。
6. 社会福祉専門職としての責務と役割を自覚し、住民や多様な専門職と連携・協働することができる。
7. 社会福祉に関する地域社会および国際社会のニーズを捉え、社会福祉専門職として貢献し、自己研鑽することができる。

こども教育福祉学科

こども教育福祉学科は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた人間性を涵養することを土台に、地域の福祉と生活上の困難を抱える人々の自立及び生活の質の向上を支援するために、専門機関や施設、他職種との連携、共同して、その責務を果たすことができる高度な知識・技術と実践力を兼ね備えた福祉専門職者を養成することを教育目的としています。

卒業においては、教育目的に則した教育課程に学び、以下に掲げることに到達することを目標とし、卒業に必要な所定の単位数を修得した者に対し卒業を認定し、学位を授与します。

1. 建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と高い倫理観と教育・保育の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。
2. 教育・保育の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技術を体系的に修得している。
3. 様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表現力を身につけている。
4. 設定した課題について自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で議論し、考察することができる。
5. 専門分野の知識・理論や技術等を総合的に活用して、個々の子どもに合わせて援助・指導する実践力を備えている。
6. 教育・保育の領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携・協働することができる。
7. 教育・保育に関する地域社会・国際社会のニーズを捉え、専門職として使命感を持ちながら貢献し、自己研鑽することができる。

I-3 学部の教育課程の編成・実施方針（CP）

学部の教育課程の編成・ 実施方針（CP）

<社会福祉学科・介護福祉学科>

カリキュラム編成方針は、社会福祉士・介護福祉士を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や社会福祉士・介護福祉士の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な社会福祉・介護福祉の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。

1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、社会福祉、介護福祉の専門職者としての高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。
2. 対象者の多様性を理解し、適切な社会福祉援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や社会福祉の各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し修得するために専門基礎科目を置く。
3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことのできるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。
4. 対象者を理解し、基礎的な社会福祉援助法の実践のため、各専門分野の基礎的な評価や援助技術を修得するために専門科目を置く。
5. 設定された課題や自身の疑問に対し、専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。
6. 社会福祉、介護福祉、の専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。
7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚および語学力・表現力を養うために語学や海外研修および国際福祉実習の科目を置く。

<こども教育福祉学科>

カリキュラム編成方針は、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者を志す者として身につけるべき態度・知識・技術を修得するために、1) 建学の精神に基づいた人間性の涵養をはかるための自校教育と人間理解を深めるための多様な教養基礎科目を配置した教養基礎領域 2) 関連諸学の基礎知識や小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基礎知識を体系的に修得する専門基礎領域 3) さまざまな対象者の有する課題を科学的、論理的、総合的に理解し支援するために必要な小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の基本的な知識と理論、および技術を修得するための専門領域—の3領域から編成します。具体的には上記の教育目標により、以下のカリキュラムを編成・実施します。

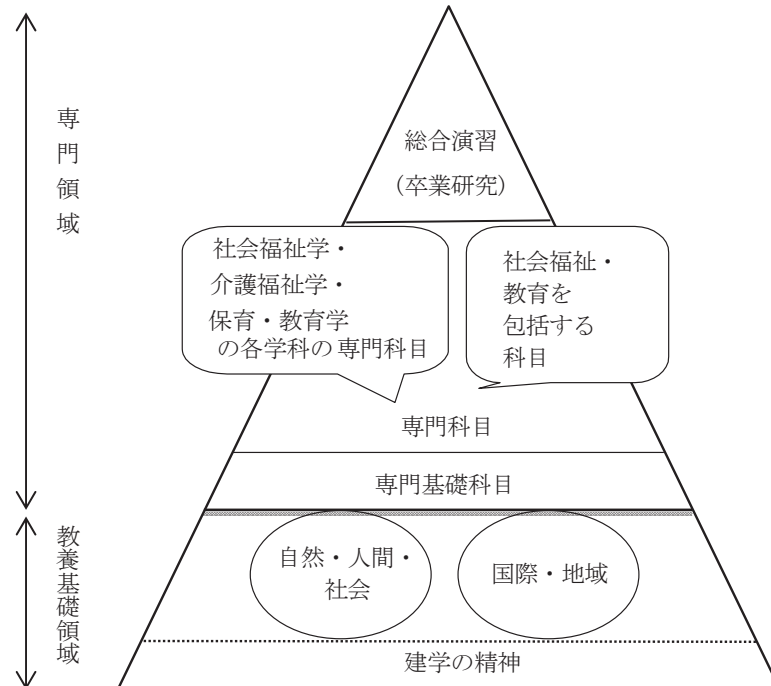
1. キリスト教精神に基づく「生命の尊厳と隣人愛」を深く理解し、小学校教諭、幼稚園教諭、（保育教諭）、保育士の教育・保育の専門職者として高い倫理観と価値観・態度を身につけるために、建学の理念と精神の育成に関わる自校教育科目および人間形成に関わるキリスト教関連科目を置く。また大学での学びの基礎を築き、幅広い知識を身につけ、物事を総合的に捉え的確に判断できる教養を養うために大学教育導入科目と教養科目を置く。
2. 対象者の多様性を理解し、適切な教育・保育の指導・援助の実践ができるようになるため、関連諸学の基礎知識や各専門分野の基礎的な知識・理論や技能を体系的に理解し取得するために専門基礎科目を置く。
3. 対象者を全人的に理解し、適切な対人関係を築くことができるコミュニケーション力と実践力を養うためにキャリア教育科目および専門基礎科目を置く。
4. 対象者を理解し、基礎的な教育・保育方法の実践のために、各専門分野の基礎的な評価や指導・援助の技術を修得するために専門科目を置く。
5. 設定された課題や自身の疑問に対し、自分の専門分野や関連諸学の学識を統合し、課題を探究する態度と知識、技術を身につけるために専門科目を置く。
6. 小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等の教育・保育専門職者の役割と責任を自覚し、多職種との連携・協働が実践できる態度と知識・技術を修得するために専門科目と専門職連携教育科目を置く。
7. 地域および国際社会の課題に関心を深め、国際的にも活躍できる国際感覚（異文化理解）および語学力・表現力を養うために語学や海外研修、国際ボランティア及び国際福祉実習の科目を置く。

I-4 学部のカリキュラム

1. カリキュラムの構造

(1) 基本構造

本学部での学修には、隣人愛に基盤をおいた人間性を涵養しながら、支援するために必要となる知識や技術を修得することに加え、人と環境を捉える視点を幅広くもつことが求められます。本学部ではこのような学修を可能とするために、カリキュラムは以下のような構造となっています。専門領域の詳細については、各学科のカリキュラムの特徴に記載します。



(2) 教養基礎領域

大学の学修において専門的知識・技術の修得の重要性はいうまでもありません。と同時に、幅広い視野に立ち人間全般に関する深い教養と物事を総合的に捉える力を養うこと、また時代が大きく変化の中で、その時代に合わせて変えなければならないこと、いくら時代が変化しても継承なくてはならないものを見抜く力を養うことも重要となります。

このような力を養うために、教養基礎領域は、本学の「建学の精神」を学び人間形成にかかわる科目、大学生として必要とされる幅広い見識に関わる科目からなり、以下の3つの科目群にわかれ、それぞれの領域ごとに卒業に必要な単位数が決められています。

1) 建学の精神

建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」について、本学の母体である聖隷の歴史や理念について学びます。また、聖書に示された人間観と隣人愛に根ざした行動力を学び、キリスト教を通して人格の形成をします。

2) 自然・人間・社会

健やかで健康的な精神と身体、人間とそれを取りまく社会や自然を多面的に学び、科学的なものの見方を身につけます。多様な人々とコミュニケーションを図れるように、高い倫理観と豊かな教養を養います。

また、大学での学びに必要なスタディ・スキルやスチューデント・スキルを修得する「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、情報収集・分析の方法やインターネットを活用して情報のやり取りをするための情報リテラシーを学ぶ「情報処理A・B」など、幅広く学び視野を広げ現代社会に必要な力を身につけます。

(3) 国際・地域

国際社会に貢献するためにはコミュニケーションを図るための言語を修得することが望まれます。そのため複数の外国語科目が設定されています。外国語科目では聞く、話す、読む、書く力、そしてコミュニケーション力を高め、それと同時にそれらの言語を使用する国々の現状や文化を学びます。

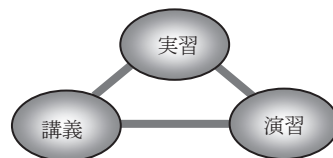
自ら考え行動し、実際の現場で経験を積むことで実践力を養う科目として「ボランティア演習」「地域実践アクティブラーニング」「国際支援アクティブラーニング」があります。地域における社会貢献活動や国際的な支援活動を実践します。

対人支援専門職の総合大学として看護・リハビリテーション学部の学生と学び合う「地域ケア連携の基礎」は、地域の中で「専門職同士が協働すること」の基礎を学修します。

「大学間交流授業」は、西部地域にある大学で学ぶ学生や社会人と共に学ぶ機会が与えられている講義です。

(3) 講義・演習・実習が連動した教育課程

大学における学修では、単に知識を増やすことだけではなく、自分が得た知識を深めることが必要です。特に対人支援専門職を目指す学生にとって、「講義」で学んだ知識や技術を「演習」で実際に使ってみたり、さらに「実習」や「インターンシップ」でそれらを対人支援の場で知識や技術を統合して身につけたりすることが重要になります。



本学部のカリキュラムは、「講義」科目を基盤にして「演習」「実習」科目が配置されています。学生の効果的な学修、またキャリア・プラン等を考察した上で、授業科目の配置セメスターを決定しました。教育課程表にある「開講セメスター」は、それを示しています。

2. 科目の種類

(1) 必修科目と選択科目

すべての授業科目は、「必修科目」と「選択科目」に分かれて、教養基礎領域、専門領域のいずれかに配置されています。

「必修科目」は、「卒業するために必ず履修しなければならない科目」です。

「選択科目」は、「資格の取得の仕方や学生の興味・関心などにより、自らが選択する科目」です。

(2) 指定科目

国家資格を取得するためには、各資格課程において指定された科目を修得することが必要となります。それらの科目は「指定科目」と呼ばれます。

各資格で必要とされる指定科目の数や種類は異なりますので、各学科の「資格の取得」を参照してください。

3. キャップ制適用除外科目

全学で適用除外されている科目(p. 12)に加えて、以下の科目をキャップ制適用除外科目とします。

福祉実習Ⅰ～Ⅳ、インターンシップⅠ*～Ⅳ

*ただし、社会福祉学科のインターンシップⅠは含まない。

Ⅱ-1 社会福祉学科のカリキュラムの特徴と構成

1. カリキュラム構成の 3本の柱

現代社会は、伝統的な地縁や血縁が崩壊しつつあり、家族や個人が孤立し、極めて脆弱な生活基盤に立っている状況であるといえましょう。社会福祉学科では、このような「縁」を再構成し、地域にネットワークの輪を構築し、広げていく人材を育成したいと考えています。そのため、社会福祉学科では学生の知識、技術、態度を涵養するため、以下の共通テーマを学科の学びの柱として掲げています。

(1) コミュニケーションと相談援助

人によりそうためのコミュニケーション・相談援助・ネットワーキングの知識と技術をしっかりと学びます。

(2) 体験学習とインターンシップ

講義を基盤とした演習・実習・インターンシップを重視し、1年次から4年次まで福祉現場の体験ができます。

(3) 社会参加支援

人々の社会参加を支援する、専門職同志の「連携」に強いネットワークづくりのプロを目指して学修します。

2. 4つのコースとキャリア・プラン

社会福祉学科には4つのコースがあります。これらのコースは卒業後のキャリア・プランと連動し、将来像を見据えた学びの道標となります。

マネジメントコース

社会福祉施設やNPO法人でリーダーシップを発揮し、マネジメントを展開するために必要な学びをするコースです。

アクティブライフコース

障がいのある人たち、高齢者やこどもの通所施設等で、生活の質（Quality of Life）の向上を目指し、また就労支援や自立支援の方法を学ぶコースです。

保健医療ソーシャルワークコース

一般病院、精神科病院やその他の医療機関で相談援助の専門職を目指す学びのコースです。医療ソーシャルワーカー志望、または、精神保健福祉士資格取得希望の学生は本コースを選択する必要があります。

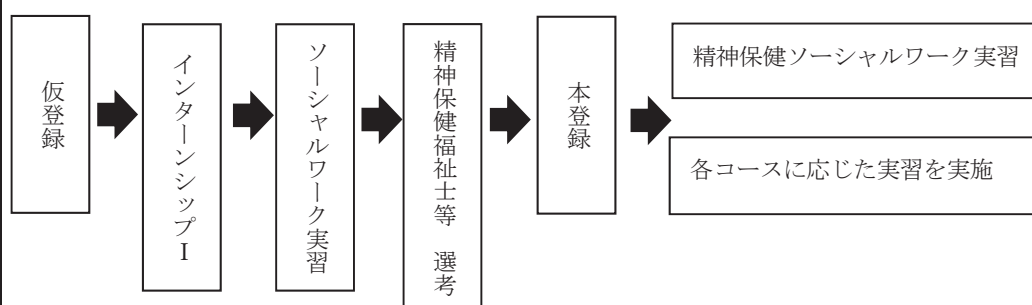
スクールソーシャルワーク（こども・若者支援）コース

小中高校等で、児童・生徒やご家族等を対象に相談援助を行うスクールソーシャルワークを含む、「こども・若者支援」について重点的に学ぶコースです。精神保健福祉士資格取得を希望せずにスクールソーシャルワーカーの認定資格の取得を希望する学生は、本コースを選択する必要があります。

3. コース選択のプロセスと資格取得にかかわる「選考」

コース制とは、将来を考えた「履修モデル」であり、在学中のコースの変更が可能です。学生は2年次の第3セメスターでコースを選び、第4セメスターで仮登録します。3年次になり、第6セメスターになって本登録します。なお、本登録にあたり、第5セメスター以降に「精神保健福祉士」「スクールソーシャルワーカー」「医療ソーシャルワーカー」の資格等の取得を希望する場合には、「選考」を実施します。

資格取得の詳細は、1～3年までの各ガイダンスで説明しますので、自らのキャリア・プランをよく考え、教員や保護者とも相談し、希望資格への理解と動機付けを高めましょう。



4. コース制と資格取得等

4つのコースで取得が可能である主要な資格等は、下表のとおりです。

取得資格等 コース	社会福祉士	精神保健福祉士 注1	スクールソーシャルワーカー	医療ソーシャルワーカー
マネジメントコース	○			
アクティブライフコース	○			
保健医療ソーシャルワークコース 注2	○	○	○注3	
スクールソーシャルワーク (こども・若者支援)コース	○		○	

注1：精神保健福祉士の資格取得を希望する場合、原則として、3年次春セメスターまでの社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目すべてを取得できていることが条件となります。

注2：保健医療ソーシャルワークコースでは、社会福祉士取得を基本とし、他の資格等取得の組み合わせは次のとおりです。

1. 社会福祉士＋医療ソーシャルワーカー
2. 社会福祉士＋精神保健福祉士
3. 社会福祉士＋精神保健福祉士＋医療ソーシャルワーカー
4. 社会福祉士＋精神保健福祉士＋スクールソーシャルワーカー

注3：保健医療ソーシャルワークコースを選択した場合、スクールソーシャルワーカーと医療ソーシャルワーカーを同時に選択することはできません。

*それぞれのコースで履修することが推奨されている科目については、Ⅱ－4履修モデルの△・□・○・◎印で確認できます。

Ⅱ-2 実習科目の構成とその内容

1. 実習科目の種類と

概要

(1) 実習科目の種類

と配置セメスター

社会福祉学科の実習は「国家資格と関連する科目」と「本学独自科目」に大別されます。各実習科目の配置セメスターは下表の通りです。

種別	科目名	セメスター
国家資格関連実習	ソーシャルワーク実習	第5～6セメスター
	精神保健ソーシャルワーク実習	第7セメスター
認定資格関連実習	スクールソーシャルワーク実習	第6～7セメスター
本学独自関連実習	医療ソーシャルワーク実習	第6～7セメスター
	インターンシップ入門	第1～2セメスター
	インターンシップⅠ	第4セメスター
	インターンシップⅡ	第7セメスター
	福祉実習Ⅰ～Ⅳ	第2～8セメスター
	国際福祉実習	第4～8セメスター

(2) 各実習科目の

特徴

1) スクールソーシャルワーク

実習

スクールソーシャルワーカーが配置されている教育機関等で実習を行う科目です。

2) 医療ソーシャルワーク

実習

医療機関（病院・診療所・老人保健施設）の医療福祉部門において実習を行う科目です。

3) インターンシップ 入門

1年次に開講される必修科目です。社会福祉現場での多様性を学び、自分自身についても振り返りを重ねる機会を得ると同時に、インターンシップⅠやソーシャルワーク実習の事前学習として位置づけられている科目です。

4) インターンシップ Ⅰ

本科目は、第4セメスターに開講される必修科目です。3年次のソーシャルワーク実習に向けて、学生の主体性を形成することを目的としています。

5) インターンシップ Ⅱ

本科目は、第7セメスターで開講される選択科目です。コース選択と連動した実習先で総仕上げを行う実習です。

6) 福祉実習Ⅰ～Ⅳ

本科目は第2～8セメスターの間で自由に選択できる科目です。学生自らの関心や目的に応じて、実習先や実習内容を教員や実習先の職員と調整して決定していきます。

7) 国際福祉実習

インド、ブラジル、韓国などの社会福祉施設で実習を行い、その国の社会福祉事情や文化を体験的に学びます。第4～8セメスターで開講されます。実習期間に応じて科目名がⅠからⅣまで設定してあります

2. 実習・インターシップの 単位認定	実習・インターシップ科目を修得するには、実習先等での実習のほかに、必ず大学において事前指導と事後指導を受けます。その際実習科目、実習指導を同時に履修する必要があります。 但し、「資格外実習」の「インターシップ入門」、「国際福祉実習」ならびに「インターシップⅡ」「福祉実習」では、本科目のうちで事前指導、事後指導を実施します。 詳細は、履修ガイダンス等で説明します。
3. 実習・インターシップの 費用	別途徴収します。また、実習やインターシップにおける滞在費・宿泊費・食費・交通費等は、全額自己負担となります。詳しくは各実習・インターシップのオリエンテーションで説明します。

Ⅱ-3 演習科目の構成とその内容

1. 実践系演習と 教養・研究系演習	演習科目は、「実践系演習」と「教養・研究系演習」に大別されます。 「実践系演習」は、具体的な援助スキルを修得できるように、講義で学んだ援助スキルを学生同士で実際に使ってみる形式で進められる授業です。 「教養・研究系演習」とは、大学を卒業して社会人として、また実践者として必要となる「読む」「書く」「考える」「探求する」「討議する」などの能力を養い、専門的な学修を進めることを目的としています。小グループ形式で授業を行います。
2. 基礎演習Ⅰ・Ⅱ	第1・2セメスターに開講され、大学で学ぶための基礎的な諸能力を養い、4年間の学修の基盤を形成することを目的とします。
3. 社会福祉演習	第3セメスターに開講される本科目は、社会福祉の専門領域を学ぶために必要とされる学修能力を養うことなどを目的としています。
4. 総合演習 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	第6～8セメスターに開講されます。学生は自分の関心に基づいてテーマを設定し、大学での学修の総括として、テーマについて担当教員の指導のもと学修を深め、最終的には成果物にまとめるなどします。

Ⅱ-4 教育課程・カリキュラムマップ・履修モデル(社会福祉学科)

社会福祉学部社会福祉学科 教育課程

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	資格課程				
						1年次		2年次		3年次		4年次			社会福祉士	福祉士 精神保健	SSW		
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ						
教養基礎領域	建学の精神	聖隷の理念と歴史	★	30	2	◎	◎							17単位以上					
		キリスト教概論	★	30	2	◎	◎												
		キリスト教人間論	★	15	1	○	○												
		キリスト教の歴史	★	15	1			○	○										
		キリスト教倫理	★	15	1					○	○								
	自然・人間・社会	哲学	★	30	2	○		○											
		文学	★	30	2	○	○	○	○										
		心理学	★	30	2	○	○	○	○						○	○			
		倫理学	★	30	2		○		○										
		女性学	★	30	2	○		○											
		生活福祉文化論	★	30	2	○	○												
		レクリエーション概論	★	30	2	○	○	○	○										
		音楽	★	30	1	○	○	○	○										
		健康スポーツ論	★	15	1	○	○												
		健康スポーツ実践	★	30	1	○	○												
		スポーツⅠ	★	30	1	○	○	○	○										
		スポーツⅡ	★	30	1	○	○	○	○										
		法学	★	30	2	○	○	○	○						○	○			
		日本国憲法	★	30	2		○	○	○										
		経済学	★	30	2	○													
		教育学	★	30	2	○	○	○	○									○	
		社会学	★	30	2	○	○	○	○						○	○			
		現代コミュニティ論	★	30	2	○	○	○	○										
		生物学	★	30	2	○		○											
		基礎演習Ⅰ		30	1	◎													
		基礎演習Ⅱ		30	1		◎												
		日本語表現法	★	30	2	◎	◎	◎	◎										
		情報処理A	★	30	1	◎													
		情報処理B	★	30	1		◎												
		キャリアデザイン	★	15	1						◎								
	国際・地域	英語Ⅰ	★	30	1	◎									8単位以上				
		英語Ⅱ	★	30	1		◎												
		英語Ⅲ		30	1			○											
		英語Ⅳ	★	30	1				○										
		英語Ⅴ	★	30	1					○									
		中国語	★	30	1			○	○										
外国語		★	30	1	○	○	○	○	○	○	○	○							
海外研修		★	30	1	○	○	○	○	○	○	○	○							
ブラジル文化と言語		★	30	2	○	○													
現代の国際社会		★	30	2	○	○													
文化人類学		★	30	2	○														
国際支援入門		★	15	1	○														
国際支援アクティブラーニングⅠ		★	30	1				○											
国際支援アクティブラーニングⅡ		★	30	1				○											
地域ケア連携の基礎		★	15	1	◎														
地域実践アクティブラーニングⅠ		★	30	1			○		○		○								
地域実践アクティブラーニングⅡ		★	30	1					○		○								
地域実践アクティブラーニングⅢ		★	30	1							○								
ボランティア論		★	15	1	○														
ボランティア演習		★	30	1		○		○		○		○							
大学間交流授業		★	30	2		○		○		○		○							

「開講年次」欄の◎と○は、それぞれ卒業要件のための必修科目と選択科目です。

「資格課程」欄の○は、それぞれ国家試験受験資格取得のために必要な科目です。

* 社会福祉学科においては「日本語表現法」は必修科目です。

* 社会福祉学科においては「情報処理A」「情報処理B」2科目を必ず履修してください。

* 社会福祉学科1年次生においては「ライフサイクルとソーシャルワークⅠ」「ライフサイクルとソーシャルワークⅡ」のうち、1科目は必ず履修してください。

* 保健医療ソーシャルワークコースの選択者においては「地域ケア連携演習」を必ず履修してください。

* マネジメントコースの選択者においては「トップマネジメント論」「マネジメント演習」のうち、1科目は必ず履修してください。

* アクティブライフコースの選択者においては「ファミリーソーシャルワーク」「ジョブコーチ論」のうち、1科目は必ず履修してください。

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	資格課程			
						1年次		2年次		3年次		4年次			社会福祉士	福祉士	SSW	
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ					
専門基礎科目		臨床原論		15	1								◎	7単位以上				
		社会福祉学概論Ⅰ		30	2	◎									○	○		
		ソーシャルワーク総論Ⅰ		30	2	◎									○	○		
		ソーシャルワーク論Ⅰ		30	2		◎								○	○		
		医学概論		30	2		○								○	○		
専門領域	専門科目	キリスト教社会福祉		15	1				○					79単位以上				
		総合演習Ⅰ		30	2						◎							
		総合演習Ⅱ		30	2							◎						
		総合演習Ⅲ		30	2								◎					
		地域ケア連携演習	★	30	1								○					
		ソーシャルワーク演習Ⅰ		30	2		◎									○	○	
		社会福祉入門		30	2		◎											
		社会福祉演習		30	2			◎										
		インターンシップ入門		60	2		◎											
		インターンシップⅠ		90	2				◎									
		インターンシップⅠ実習指導		30	2				◎									
		社会福祉学概論Ⅱ		30	2							○				○	○	
		ソーシャルワーク総論Ⅱ		30	2		○									○	○	
		社会保障論Ⅰ		30	2					○						○	○	
		社会保障論Ⅱ		30	2						○					○	○	
		公的扶助論		30	2			○								○	○	
		ソーシャルワーク論Ⅱ		30	2			○								○		
		ソーシャルワーク論Ⅲ		30	2				○							○		
		ソーシャルワーク論Ⅳ		30	2							○				○		
		ソーシャルワーク演習Ⅱ		30	2			○								○	○	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ		30	2				○							○		
		ソーシャルワーク演習Ⅳ		30	2					○						○		
		ソーシャルワーク演習Ⅴ		30	2						○					○		
		ソーシャルワーク演習Ⅵ		15	1								○			○		
		ソーシャルワーク実習		180	4						○					○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		30	1				○							○		
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		60	2						○					○		
		高齢者福祉論		30	2				○							○		
		介護福祉論		30	2			○								○		
		障害者福祉論		30	2				○							○	○	
		児童・家庭福祉論		30	2				○							○		○
		地域福祉論Ⅰ		30	2				○							○	○	
		地域福祉論Ⅱ		30	2					○						○	○	
		社会福祉経営論		30	2							○				○		
		医療福祉論		30	2				○							○	○	
		社会福祉行政論		15	1					○						○	○	
		福祉計画論		15	1					○						○	○	
		就労支援論		15	1				○							○		
		司法福祉論		15	1							○				○		
		社会調査論		30	2							○				○		
		精神保健福祉制度論Ⅰ		30	2				○								○	
		精神保健福祉制度論Ⅱ		30	2					○							○	
		精神保健生活支援システム論		30	2										○		○	
		精神保健ソーシャルワーク総論		30	2			○									○	
		精神保健ソーシャルワーク各論Ⅰ		30	2					○							○	
		精神保健ソーシャルワーク各論Ⅱ		30	2						○						○	
		精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ		30	2							○				○	○	
		精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ		30	2								○				○	
		精神保健ソーシャルワーク実習指導		90	3								○				○	
		精神保健ソーシャルワーク実習		210	5								○				○	
精神障害リハビリテーションⅠ		30	2						○					○				
精神障害リハビリテーションⅡ		30	2								○			○				
精神医学Ⅰ		30	2				○							○				
精神医学Ⅱ		30	2					○						○				
精神保健学Ⅰ		30	2			○								○	○			
精神保健学Ⅱ		30	2				○							○				
社会福祉発達史		15	1				○											

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)					
	(1)建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。	(2)社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。	(3)様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。	(4)自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探究・設定し、多面的に考察することができ	
1年次	共19-D1-1-教養基礎-1 共19-D1-1-教養基礎-2 共19-D1-1-教養基礎-3 共19-D1-1-教養基礎-4 共19-D1-1-教養基礎-5 共19-D1-1-教養基礎-6 共19-D1-1-教養基礎-7 共19-D1-1-教養基礎-8 共19-D1-1-教養基礎-9 共19-D1-1-教養基礎-10 共19-D1-1-教養基礎-11 共19-D1-1-教養基礎-12 共19-D1-1-教養基礎-13 共19-D1-1-教養基礎-14 共19-D1-1-教養基礎-15 共19-D1-1-教養基礎-16 共19-D1-1-教養基礎-17 共19-D1-1-教養基礎-18 共19-D1-1-教養基礎-19 共19-D1-1-教養基礎-20 共19-D1-1-教養基礎-21 共19-D1-1-教養基礎-22 共19-D1-1-教養基礎-23 共19-D1-1-教養基礎-24 SW19-D1-1-専門-1	聖書の理念と歴史 キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教倫理 文学 心理学 倫理学 社会学 生活福祉文化論 レクリエーション概論 音楽 健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツⅠ スポーツⅡ 法学 日本国憲法 経済学 教育学 社会学 現代コミュニケーション論 生物学 インターネット入門	社会福祉学概論Ⅰ ソーシャルワーク総論Ⅰ 医学概論 社会福祉入門 ソーシャルワーク総論Ⅱ 介護福祉論 精神保健ソーシャルワーク総論 フイオウルとソーシャルワーカーⅠ フイオウルとソーシャルワーカーⅡ 発達心理学	共19-D3-1-教養基礎-1 共19-D3-1-教養基礎-2 共19-D3-1-教養基礎-3 SW19-D3-1-教養基礎-1 SW19-D3-1-教養基礎-2 SW19-D3-1-専門-1 SW19-D3-1-専門-2 SW19-D3-1-専門-3	日本語表現法 情報処理A 情報処理B 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ 生活サポート演習Ⅱ
2年次	SW19-D1-2-専門-1	キリスト教社会福祉	社会福祉演習 公的扶助論 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 高齢者福祉論 障害者福祉論 児童・家庭福祉論 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 医療福祉論 就労支援論 精神保健福祉制度論Ⅰ 精神医学Ⅰ 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 社会福祉発達史 臨床心理学 特別支援教育	SW19-D3-2-専門-1 SW19-D3-2-専門-2	ソーシャルワーク演習Ⅲ
3年次	SW19-D1-3-専門-1	スカラー(学校)ソーシャルワーク論	社会福祉学概論Ⅱ 社会保健論Ⅰ 社会保健論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅳ 社会福祉経営論 社会福祉行政論 司法福祉論 精神保健ソーシャルワーカー各論Ⅰ 精神障害リハビリテーションⅠ	共19-D4-3-教養基礎-1 SW19-D4-3-専門-1 SW19-D4-3-専門-2 SW19-D4-3-専門-3 SW19-D4-3-専門-4 SW19-D4-3-専門-5	キャリアデザイン 総合演習Ⅰ 福祉計画論 社会調査論 精神保健福祉制度論Ⅱ 精神医学Ⅱ
4年次	SW19-D1-4-専門-1	インターネットシナップⅡ	精神保健生活支援システム論 精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ ファミリーソーシャルワーク ジョブコーチ論	SW19-D4-4-専門-1 SW19-D4-4-専門-2 SW19-D4-4-専門-3	総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 精神障害リハビリテーションⅡ

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)					
(5)社会福祉分野の知識・技能を総合的に活用し、対象・課題に応じた支援を提供する実践力を身につけている。		(6)社会福祉専門職としての責務と役割を自覚し、住民や多様な専門職と連携・協働することができる。		(7)社会福祉に関する地域社会および国際社会のニーズを捉え、社会福祉専門職として貢献し、自己研鑽することができる。	
SW19-D5-1-専門-1 SW19-D5-1-専門-2 SW19-D5-1-専門-3 SW19-D5-1-専門-4 SW19-D5-1-専門-5	アダプテッド・スポーツ 福祉実習Ⅰ 福祉実習Ⅱ 福祉実習Ⅲ 福祉実習Ⅳ			共19-D7-1-教養基礎-1 共19-D7-1-教養基礎-2 共19-D7-1-教養基礎-3 共19-D7-1-教養基礎-4 共19-D7-1-教養基礎-5 共19-D7-1-教養基礎-6 共19-D7-1-教養基礎-7 共19-D7-1-教養基礎-8 共19-D7-1-教養基礎-9 共19-D7-1-教養基礎-10 共19-D7-1-教養基礎-11 共19-D7-1-教養基礎-12 共19-D7-1-教養基礎-13	英語Ⅰ 英語Ⅱ 外国語 海外研修 ブラジル文化と言語 現代の国際社会 文化人類学 国際支援入門 地域ケア連携の基礎 地域実践7717/トレーニングⅠ ボランティア論 ボランティア演習 大学間交流授業
1 年 次					
SW19-D5-2-専門-1 SW19-D5-2-専門-2	インターンシップⅠ インターンシップⅡ 実習指導			共19-D7-2-教養基礎-1 共19-D7-2-教養基礎-2 共19-D7-2-教養基礎-3 共19-D7-2-教養基礎-4 共19-D7-2-教養基礎-5 共19-D7-2-教養基礎-6 SW19-D7-2-専門-1 SW19-D7-2-専門-2 SW19-D7-2-専門-3 SW19-D7-2-専門-4	英語Ⅳ 中国語 国際支援7717/トレーニングⅠ 国際支援7717/トレーニングⅡ 地域実践7717/トレーニングⅡ 英語Ⅲ 国際福祉実習Ⅰ 国際福祉実習Ⅱ 国際福祉実習Ⅲ 国際福祉実習Ⅳ
2 年 次					
SW19-D5-3-専門-1 SW19-D5-3-専門-2 SW19-D5-3-専門-3 SW19-D5-3-専門-4 SW19-D5-3-専門-5 SW19-D5-3-専門-6 SW19-D5-3-専門-7 SW19-D5-3-専門-8	ソーシャルワーク演習Ⅳ ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 精神保健7717/ケア実習指導 スクールソーシャルワーク実習指導 スクールソーシャルワーク実習 医療ソーシャルワーク実習指導	SW19-D6-3-専門-1 SW19-D6-3-専門-2 SW19-D6-3-専門-3	精神保健7717/ケア各論Ⅱ スクールソーシャルワーク演習 医療ソーシャルワーク演習	共19-D7-3-教養基礎-1 共19-D7-3-教養基礎-2 SW19-D7-3-専門-1	英語Ⅴ 地域実践7717/トレーニングⅢ ソーシャルワーク演習Ⅴ
3 年 次					
SW19-D5-4-専門-1 SW19-D5-4-専門-2	精神保健7717/ケア演習Ⅱ 精神保健ソーシャルワーク実習	SW19-D6-4-専門-1 SW19-D6-4-専門-2 SW19-D6-4-専門-3	ソーシャルワーク演習Ⅵ マネジメント演習 トピックマネジメント論	共19-D7-4-専門-1 SW19-D7-4-専門基礎-1	地域ケア連携演習 臨床原論
4 年 次					

Ⅱ-5 編入学生の学修

編入学生は3年次への編入学となります。編入学生には、編入学以前の学校での修得単位を最大限尊重する意味と資格取得という入学の目的を考慮し、「教養基礎領域 25 単位、専門領域 86 単位、教養基礎領域・専門領域及び他学科履修科目から 14 単位」という規程は適用されません。しかし、「Ⅰ-2 学部のカリキュラムの構造と科目の種類」と「Ⅱ-1 社会福祉学科のカリキュラムの特徴と構成」に記載されている内容をよく理解し、可能な限り各資格の指定科目以外で配置されている本学の必修科目を履修することを勧めます。

1. 卒業に必要な単位

63 単位 既修得として認定された資格指定科目の単位は含みません。
※入学時に 62 単位が既修得単位として認定されるので、本学において 63 単位以上を修得してください。

2. 在学年数

2 年（4 年以内）

3. 資格取得

指定科目の履修により以下の資格の取得が可能です。

- ・社会福祉士国家試験受験資格 ・精神保健福祉士国家試験受験資格
- ・社会福祉主事任用資格 ・初級障がい者スポーツ指導員
- ・児童指導員任用資格

資格取得に関して、以下のことに留意してください。

1. 社会福祉士と精神保健福祉士両方の国家試験受験資格を取得する場合は、2 年間で履修することが困難です。
2. 原則として精神保健福祉士の国家試験受験資格のみの履修はできません。ただし、既に社会福祉士を取得（見込みを含む）、又は福祉専門職としての相談援助業務の経験がある場合はこの限りではありません。
3. 精神保健福祉士の国家試験受験資格を得ようとする場合、入学後その「選考」を行います。

4. 履修計画

以下の科目を全員履修する必要があります。
「総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

5. 教育課程表

社会福祉学部社会福祉学科の教育課程表を参照してください。

Ⅱ-6 卒業に必要な単位数

1. 卒業の資格 (学則 39・40 条)

卒業の資格は、所定の修業年限以上在学し、学則に定める卒業に必要な単位を修得した者に与えられます。

2. 卒業に必要な 単位数の内訳 (学則 29 条別表 1-2, 1-3, 39 条 2 項)

社会福祉学科

教養基礎領域 計 25 単位 (必修 10 単位)	建学の精神	17 単位(必修 7 単位)
	自然・人間・社会	
	国際・地域	8 単位(必修 3 単位)
専門領域 計 86 単位 (必修 25 単位)	専門基礎科目	7 単位(必修 7 単位)
	専門科目	79 単位 (必修 18 単位)
上記に加え教養基礎領域・専門領域及び 他学科履修科目から 14 単位		14 単位
卒業に必要な単位数		125 単位 (必修 35 単位)

3. 他学科履修制度

本制度は、社会福祉の専門知識をより広く学修できる機会を提供することを目的として創設されました。これによって、他学科の教育課程にある専門領域の授業科目を一部履修することが可能となり、修得した単位は 14 単位を上限に卒業単位として認定されます。

本学科の他学科科目履修が可能な授業科目は以下の通りです。

科 目 名	
介護福祉学科	こども教育福祉学科
認知症の理解Ⅰ 認知症の理解Ⅱ 障害の理解	保育原理 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 障害児保育 子育て支援 教育原理 子ども家庭支援の心理学 幼児理解の理論と方法 子どもの保健 子どもの健康と安全 子どもの食と栄養 保育内容総論 保育内容(健康) 保育内容(言葉) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 保育内容(表現) こどもと音楽 こどもと体育 こどもと美術 こどもと言葉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子ども家庭支援論 多様な子どもの理解 多様な子どもの支援

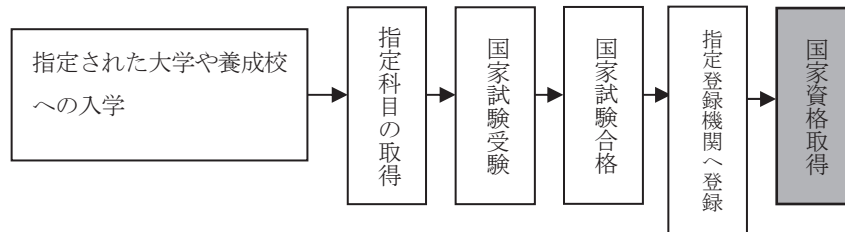
*但し、履修者数が学科の定員を超える場合は、履修できないことがあります。

Ⅱ-7 資格の取得

1. 社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得

1. 国家試験受験資格

「社会福祉士」「精神保健福祉士」は「国家資格」と呼ばれ、それらを取得するためには、「国家試験」を受験し、合格する必要があります。そして、国家試験の受験資格を得るためには、大学や養成校などで一定の科目を取得しなければなりません。これを「国家試験受験資格」の取得といいます。本学科では「社会福祉士」「精神保健福祉士」がこれに該当します。



なお、資格認定審査及び資格の登録には、社会福祉振興・試験センターが定める関係費用が必要になります。

2. 各資格の職務

「社会福祉士」「精神保健福祉士」という国家資格を持つ人の職務は、つぎのように各法律（「社会福祉士及び介護福祉士法」「精神保健福祉士法」）で定められています。

社会福祉士	社会福祉士は、専門的知識及び技術を持って、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを職務とする。
精神保健福祉士	精神保健福祉士は、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを職務とする。

2. 社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目

「社会福祉士」「精神保健福祉士」の国家試験受験資格を得るためには、必ず履修しなければならない科目が決められています。これを「指定科目」と呼びます。厚生労働省令で定める各資格の「指定科目」は以下のとおりです。

本学科において「指定科目」を修めるためには、次の表に示す本学開講科目を全て履修し、単位を修得してください。

(ただし、受験資格として * 印の科目から 1 科目)

1. 社会福祉士の指定科目一覧

指定科目	本学開講科目	単位
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2
心理学理論と心理的支援	心理学	2
社会理論と社会システム	社会学	2
現代社会と福祉	社会福祉学概論Ⅰ	2
	社会福祉学概論Ⅱ	2
社会調査の基礎	社会調査論	2
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク総論Ⅰ	2
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ	2
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2
	地域福祉論Ⅱ	2
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行政論	1
	福祉計画論	1
福祉サービスの組織と経営	社会福祉経営論	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	2
	社会保障論Ⅱ	2

指定科目	本学開講科目	単位
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論	2
	介護福祉論	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉論	2
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2
保健医療サービス	医療福祉論	2
就労支援サービス	就労支援論	1
権利擁護と成年後見制度	法学	2
更生保護制度	司法福祉論	1
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	1
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
相談援助実習	ソーシャルワーク実習	4

2. 精神保健福祉士の指定科目一覧

指定科目	本学開講科目	単位
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2
心理学理論と心理的支援	心理学	2
社会理論と社会システム	社会学	2
現代社会と福祉	社会福祉学概論Ⅰ	2
	社会福祉学概論Ⅱ	2
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2
	地域福祉論Ⅱ	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	2
	社会保障論Ⅱ	2
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行政論	1
	福祉計画論	1
保健医療サービス	医療福祉論	2
権利擁護と成年後見制度	法学	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2
精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ	2
	精神医学Ⅱ	2

指定科目	本学開講科目	単位
精神保健の課題と支援	精神保健学Ⅰ	2
	精神保健学Ⅱ	2
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	ソーシャルワーク総論Ⅰ	2
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	精神保健ソーシャルワーク総論	2
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神保健ソーシャルワーク各論Ⅰ	2
	精神保健ソーシャルワーク各論Ⅱ	2
	精神障害リハビリテーションⅠ	2
	精神障害リハビリテーションⅡ	2
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉制度論Ⅰ	2
	精神保健福祉制度論Ⅱ	2
精神障害者の生活支援システム	精神保健生活支援システム論	2
精神保健福祉援助演習（基礎）	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	2
精神保健福祉援助実習指導	精神保健ソーシャルワーク実習指導	3
精神保健福祉援助実習	精神保健ソーシャルワーク実習	5

3. スクールソーシャルワーカーの資格取得

1. スクールソーシャルワーカー

1 スクールソーシャルワーカーとは

スクールソーシャルワーカーとは、原則 18 歳未満の児童生徒を対象とした学校等において、学校及び日常での生活を営む上での課題の解決を要する児童生徒とその家庭への支援を行う職種です。日本ソーシャルワーク教育学校連盟によって認定されたスクールソーシャルワーク教育課程を修了した上で、社会福祉士、または精神保健福祉士の国家試験に合格した者に与えられる資格です。

2. 指定科目

本学科でこの資格を取得するには、社会福祉士指定科目を履修した上で、下表の「指定科目」を履修し、第 5 セメスターに学内で行う選考に合格しなければ、第 6 セメスター以降のスクールソーシャルワーク実習、スクールソーシャルワーク実習指導、スクールソーシャルワーク演習を履修することはできません。なお、資格の登録は無料です。

指定科目	本学開講科目	単位
スクールソーシャルワーク論	スクール（学校）ソーシャルワーク論	2
スクールソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2
スクールソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	2
スクールソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1
「教育の基礎的理解に関する科目」のうち「教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校への対応を含む）」及び「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」を含む科目の教育内容	教育学	2
「教育の基礎的理解に関する科目」のうち「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」及び「特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解」を含む科目、及び「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」のうち「生徒指導の理論及び方法」「教育相談（カウンセリング）に関する基礎的な知識を含む。」の理論及び方法」「進路指導（キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。）の理論及び方法」を含む科目の教育内容	発達心理学 特別支援教育	2 1
精神保健の課題と支援	精神保健学Ⅰ	2
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉論	2

II-8 その他の資格取得

1. 社会福祉主事

1. 社会福祉主事とは

社会福祉主事は、社会福祉行政の第一線の現業機関である福祉事務所で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり福祉事務所の職員として任用されるときに必要となります。

2. 指定科目

本学科では、社会福祉士、精神保健福祉士の指定科目を履修すれば付与されます。

2. 児童指導員

1. 児童指導員とは

児童指導員は、児童福祉施設で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり児童福祉施設の職員として任用されるときに必要となります。

2. 指定科目

「指定科目」はありません。本学科を卒業すれば自動的に付与されます。

3. 初級障がい者スポーツ指導員

1. 初級障がい者スポーツ指導員とは

初級障がい者スポーツ指導員は、障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員です。健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担います。地域の大会や教室など、スポーツ現場におけるサポートを行います。

この資格は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の「認定資格」です。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は 1964 年東京パラリンピックを契機に設立された、日本国内の障がい者スポーツの統括組織です。

資格取得後は、経験を積み講習会を受講することで中級・上級指導員にステップアップできます。

2. 指定科目

本学科でこの資格を取得するには、「指定科目」を履修し、登録する必要があります。

基準カリキュラム	必要時間数	本学開講科目	単位	備考
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	2	社会福祉学概論Ⅰ	2	
		アダプテッド・スポーツ	2	
ボランティア論	2	ボランティア論	1	**
障がい者スポーツの意義と理念	2	アダプテッド・スポーツ	2	*
安全管理	1			
障がいの理解とスポーツ	5			
(公財) 日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導者制度	1			
全国障害者スポーツ大会の概要	1			
障がいに応じたスポーツの工夫・実施(実技)	2			
障がい者との交流(実技)	2	地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ	1	***

* 「アダプテッド・スポーツ」は、1 年次秋セメスター開講科目です。2 年次生以降に履修することも可能です。

** 「ボランティア論」は 1 年次春セメスターまたは 2 年次春セメスターに履修しましょう。

*** 「地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」はアダプテッド・スポーツについて、1 単位以上履修してください。実際に、地域のアダプテッド・スポーツ活動に参加します。

Ⅲ－１ 介護福祉学科のカリキュラムの特徴と構成

1. カリキュラム構成の特徴

今日の日本は、世界に類をみない速度で高齢社会に突入しました。又、少子化により社会的人材資源の確保が困難な時代を迎えました。さらに、障がい者や高齢者の生活を支援してきた伝統的な地縁や血縁が崩壊しつつあり、家族や個人が孤立し、社会全体で解決せねばならない課題が山積しています。介護福祉学科では、このような状況を改善すべく、介護の専門職としての独自性を持ち社会的使命を果たす「介護福祉の世界でリーダーとなる専門職の養成」を行います。将来に向けて自らのキャリアデザインが描けると同時に、地域社会で役立つ喜びを住民と共有できる福祉専門職の育成のため、以下のような特徴をもつ教育カリキュラムのもと、学生の教育を行っています。

- (1) 介護福祉や社会福祉に関する学習を基盤に、福祉専門職（介護福祉士、社会福祉士）に必要なとされる専門教育が履修でき、地域での福祉専門職のリーダーとしての資質が培われます。
- (2) 講義及び専門技術を基盤とした演習・実習を重視し、1年次から4年次まで福祉施設での実習やインターンシップにより、多様な福祉現場の体験ができ、幅広い知識に裏付けられた、主体的な活動や実践力を涵養します。
- (3) 国際福祉実習や語学研修等による学びが可能であり、世界的視野にたった介護福祉実践について学修することができ、世界に通用する福祉専門家の育成を目指します。

2. 取得資格とキャリア・プラン

介護福祉学科では2つの国家資格の受験資格が取得できます。取得しようとする資格は卒業後のキャリア・プランと連動し、将来を見据えた学びの道標となります。なお各国家資格の受験資格取得に必要な科目についてはⅢ－4履修モデルの●、▲印、キャリアプランのために必要な科目は☆、★印で確認できます。

①介護福祉実践に優れ教育・研究に関心が高いリーダー

要支援介護、要介護者を対象に在宅、高齢者福祉施設、障害者福祉施設等で主にADL（日常生活動作）やIADL（手段的日常生活活動）場面における生活支援を行う介護福祉専門職者を育成し、さらに地域包括ケアを担う専門職者、地域生活継続支援に強い専門職者、医療機関で生活支援の指導ができる専門職者、実践の場において研修指導を担える専門職者、実践を研究に高める力のある専門職者の育成を目指します。

②介護福祉経営に関心が高く実践力のあるリーダー

地域の社会資源の活用や開発を行いながら、介護福祉と社会福祉の専門職として要援護・要介護者の地域生活を支えます。介護事業者や福祉施設等の福祉経営を担える知識を身につけることで介護福祉施設の管理運営を担う専門職者、介護福祉事業所の経営を担う専門職者、民間福祉サービス事業の起業実践をする専門職者、地域福祉の推進を担う専門職者、在宅復帰を推進する介護事業所の管理運営を担う専門職者を目指します。

※この領域は社会福祉士国家試験受験資格の取得を推奨します。

3. 希望取得資格決定までの流れ

1年次4月 新入生オリエンテーション 取得できる資格の説明

1年次2月 秋セメスター終了時 資格取得に関するガイダンス

2年次4月 春セメスターガイダンス 取得資格希望届の提出

＊以降の取得資格希望の変更には、取得資格変更届（保護者印が必要）を提出します。

介護福祉士、社会福祉士の2資格の取得を希望する場合、原則として、介護実習Ⅰ・Ⅱが履修済みであることを条件とします。介護実習Ⅰ・Ⅱを再履修する場合は、4年間での2資格の取得は困難になります。

ガイダンス等を通して、自らのキャリア・プランをよく考え、教員や保護者とも相談し、希望資格への理解と動機付けを高める必要があります。

Ⅲ－２ 実習科目の構成とその内容

1. 実習科目の種類と概要

(1) 資格実習

実習科目の種類

国家試験受験資格	科目名
①介護福祉士	介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（第1～3セメスター）
②社会福祉士	ソーシャルワーク実習（第5～6セメスター）

資格実習については別途「実習の手引き」などを配付し、詳細についてオリエンテーションを行います。

(2) 資格外実習・インターンシップ

1) 国際福祉実習

インド、ブラジル、韓国などの社会福祉施設で実習を行い、その国の社会福祉事情や文化を体験的に学びます。第4～8セメスターで開講されます。実習期間に応じて科目名がⅠからⅣまで設定されています。

2) 福祉実習

学生が自らの関心や目的に応じて福祉施設における実習先、実習内容などを先方と調整し行われる実習を福祉実習と位置付けています。第4～8セメスターで開講されます。

3) インターンシップ

学生が就職等自らの関心や目的に応じてインターンシップ先、インターンシップ内容などを先方と調整し行われる実習をインターンシップと位置付けています。第5～8セメスターで開講されます。

2. 実習・インターンシップの費用

別途徴収します。また、実習やインターンシップにおける滞在費・宿泊費・食費・交通費等は、全額自己負担となります。詳しくは各実習・インターンシップに関するオリエンテーション等で説明します。

3. 実習・インターンシップの単位認定

実習の単位を修得するには、施設・病院等での実習のほかに、必ず大学において事前指導と事後指導を受ける必要があります。

「資格実習」では、各資格の指定科目になっている「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」を履修する必要があります。詳しくは履修ガイダンス等で説明します。

「国際福祉実習」ならびに「インターンシップ」では、原則として担当教員から事前指導、事後指導を受けます。

Ⅲ－３ 演習科目の構成とその内容

1. 実践系演習と 教養・研究系演習

「実践系演習」は、介護福祉現場に関する具体的な援助スキルを修得できるような実践力を培います。実際の援助場面を想定し、講義で学んだ援助スキルを学生相互で実際に使ってみる形式で進められる授業です。

「教養・研究系演習」とは、大学を卒業して社会人として、また対人援助の実践者として必要となる「読む」「書く」「考える」「探究する」「討議する」「発表する」「統合する」などの能力を養い、専門的な学修を進めることを目的としています。小グループ形式で授業を行います。

2. 基礎演習Ⅰ・Ⅱ

第１・２セメスターに開講され、大学で学ぶための基礎的な諸能力を養い、４年間の学修の基盤を形成することを目的とします。

3. 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ

第１・２セメスターに開講され、介護福祉を中心とした社会福祉の専門領域を学ぶために必要とされる知識を修得し、具体的な方法論や、学修能力を養うことを目的とします。

4. 介護総合演習Ⅲ・Ⅳ

第３・４セメスターに開講され、介護及び社会福祉の専門的な学びを進めていきます。研究の視点や、実践力を修得することを目的とします。

5. 総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

第６～８セメスターに開講されます。学生は自分の関心に基づいてテーマを設定し、大学での学修の総括として、テーマについて担当教員の指導のもと学修を深め、最終的には成果物にまとめるなどします。ここでは、専門性をより高めることを目的とします。

Ⅲ-4 教育課程・カリキュラムマップ・履修モデル(介護福祉学科)

社会福祉学部介護福祉学科 教育課程

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	資格課程			
						1年次		2年次		3年次		4年次			介護福祉士	社会福祉士		
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ					
教養基礎領域	建学の精神	聖隷の理念と歴史	★	30	2	◎	◎							17単位以上				
		キリスト教概論	★	30	2	◎	◎											
		キリスト教人間論	★	15	1	○	○											
		キリスト教の歴史	★	15	1			○	○									
		キリスト教倫理	★	15	1					○	○							
	自然・人間・社会	哲学	★	30	2	○		○										
		文学	★	30	2	○	○	○	○									
		心理学	★	30	2	○	○	○	○									
		倫理学	★	30	2		○		○									
		女性学	★	30	2	○		○										
		生活福祉文化論	★	30	2	○	○											
		レクリエーション概論	★	30	2	○	○	○	○									
		音楽	★	30	1	○	○	○	○									
		健康スポーツ論	★	15	1	○	○											
		健康スポーツ実践	★	30	1	○	○											
		スポーツⅠ	★	30	1	○	○	○	○									
		スポーツⅡ	★	30	1	○	○	○	○									
		法学	★	30	2	○	○	○	○						○	○		
		日本国憲法	★	30	2		○	○	○									
		経済学	★	30	2	○												
		教育学	★	30	2	○	○	○	○							○	○	
		社会学	★	30	2	○	○	○	○									
		現代コミュニティ論	★	30	2	○	○	○	○									
		生物学	★	30	2	○		○										
		基礎演習Ⅰ		30	1		◎											
		基礎演習Ⅱ		30	1		◎											
		日本語表現法	★	30	2	○	○	○	○									
		情報処理A	★	30	1	○												
		情報処理B	★	30	1		○											
		キャリアデザイン	★	15	1						◎							
		国際・地域	英語Ⅰ	★	30	1	◎									8単位以上		
			英語Ⅱ	★	30	1		◎										
			英語Ⅲ		30	1			○									
英語Ⅳ	★		30	1				○										
英語Ⅴ	★		30	1					○									
中国語	★		30	1			○	○										
外国語	★		30	1	○	○	○	○	○	○	○	○						
海外研修	★		30	1	○	○	○	○	○	○	○	○						
ブラジル文化と言語	★		30	2	○	○												
現代の国際社会	★		30	2	○	○												
文化人類学	★		30	2	○													
国際支援入門	★		15	1	○													
国際支援アクティブラーニングⅠ	★		30	1			○											
国際支援アクティブラーニングⅡ	★		30	1			○											
地域ケア連携の基礎	★		15	1		◎												
地域実践アクティブラーニングⅠ	★		30	1			○		○		○							
地域実践アクティブラーニングⅡ	★		30	1				○		○								
地域実践アクティブラーニングⅢ	★		30	1						○								
ボランティア論	★		15	1	○													
ボランティア演習	★		30	1		○		○		○		○						
大学間交流授業	★		30	2		○		○		○		○						

「開講年次」欄の◎と○は、それぞれ卒業要件のための必修科目と選択科目です。

「資格課程」欄の○は、それぞれ国家試験受験資格取得のために必要な科目です。

区分		授 業 科 目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	資格課程		
						1年次		2年次		3年次		4年次			介護福祉士	社会福祉士	
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ				
専門領域科目	専門基礎科目	人間の尊厳と自立		30	2						◎		20単位	○			
		発達と老化Ⅰ		30	2					◎				○			
		発達と老化Ⅱ		30	2						◎			○			
		認知症の理解Ⅰ		30	2			◎				◎			○		
		認知症の理解Ⅱ		30	2							◎			○		
		障害の理解		30	2					◎					○		
		医学概論		30	2		◎								○	○	
		こころとからだⅠ		30	2	◎									○		
		こころとからだⅡ		30	2				◎						○		
		こころとからだⅢ		30	2							◎			○		
	専門科目	キリスト教社会福祉		15	1				○					66単位以上			
		総合演習Ⅰ		30	2						◎						
		総合演習Ⅱ		30	2								◎				
		総合演習Ⅲ		30	2										◎		
		地域ケア連携演習	★	30	1								○				
		介護の基本Ⅰ		30	2	◎										○	
		介護の基本Ⅱ		30	2		◎									○	
		介護の基本Ⅲ		30	2			○								○	
		介護の基本Ⅳ		30	2				○							○	
		介護の基本Ⅴ		30	2					○						○	
		介護の基本Ⅵ		30	2								○			○	
		生活支援技術Ⅰ		60	2	○										○	
		生活支援技術Ⅱ		60	2		○									○	
		生活支援技術Ⅲ		60	2				○							○	
		生活支援技術Ⅳ		60	2						○					○	
		生活支援技術Ⅴ		60	2								○			○	
		介護過程Ⅰ		30	2	○										○	
		介護過程Ⅱ		30	2		○									○	
		介護過程Ⅲ		30	1				○							○	
		介護過程Ⅳ		30	1					○						○	
		介護過程Ⅴ		30	1						○					○	
		障害者福祉論		30	2					○						○	○
		コミュニケーション技術Ⅰ		30	1	○										○	
		コミュニケーション技術Ⅱ		30	1				○							○	
		介護福祉論		30	2		○									○	○
		社会福祉学概論Ⅰ		30	2	◎										○	○
		社会福祉学概論Ⅱ		30	2							○					○
		医療的ケアⅠ		30	2				○							○	
		医療的ケアⅡ		30	2					○						○	
		医療的ケアⅢ		30	1							○				○	
		介護総合演習Ⅰ		30	1	○										○	
		介護総合演習Ⅱ		30	1		○									○	
		介護総合演習Ⅲ		30	1			○								○	
		介護総合演習Ⅳ		30	1				○							○	
		介護実習Ⅰ		90	2	○										○	
		介護実習Ⅱ		180	4		○									○	
		介護実習Ⅲ		180	4				○							○	
		地域福祉論Ⅰ		30	2				○							○	○
		地域福祉論Ⅱ		30	2					○							○
		公的扶助論		30	2				○								○
		社会保障論Ⅰ		30	2						○						○
		社会保障論Ⅱ		30	2							○					○
		高齢者福祉論		30	2				○							○	○
		ソーシャルワーク論Ⅰ		30	2		○										○
		ソーシャルワーク論Ⅱ		30	2				○								○
		ソーシャルワーク論Ⅲ		30	2					○							○
		ソーシャルワーク論Ⅳ		30	2							○					○
		トップマネジメント論		15	1								○				
		社会福祉経営論		30	2							○					○
	社会福祉行政論		15	1					○						○		

区分		授 業 科 目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	資格課程	
						1年次		2年次		3年次		4年次			介護福祉士	社会福祉士
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ			
専門領域	専門科目	福祉計画論	15	1					○							○
		就労支援論	15	1				○								○
		司法福祉論	15	1							○					○
		社会調査論	30	2							○					○
		児童・家庭福祉論	30	2			○									○
		医療福祉論	30	2							○					○
		ソーシャルワーク総論Ⅰ	30	2	◎											○
		ソーシャルワーク総論Ⅱ	30	2		○										○
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	30	2		○									○	○
		ソーシャルワーク演習Ⅱ	30	2			○									○
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	30	2				○								○
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	30	2					○							○
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	30	2						○						○
		ソーシャルワーク演習Ⅵ	15	1								○				○
		ソーシャルワーク実習	180	4						○						○
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	30	1				○								○
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	60	2						○						○
		介護福祉管理論	30	2							○				○	
		自立支援介護論	30	2						○						
		チーム介護論	30	2								○				
		介護福祉実践演習Ⅰ	30	1								○				
		介護福祉実践演習Ⅱ	30	1									○			
		福祉支援工学入門	30	2						○						
		福祉サービス工学入門	30	2							○					
		福祉生体工学入門	30	2								○				
		アダプテッド・スポーツ	30	2		○										
		国際福祉実習Ⅰ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		国際福祉実習Ⅱ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		国際福祉実習Ⅲ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		国際福祉実習Ⅳ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		インターンシップⅠ	90	2					○	○	○	○	○			
		インターンシップⅡ	90	2					○	○	○	○	○			
		福祉実習Ⅰ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		福祉実習Ⅱ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		福祉実習Ⅲ	90	2				○	○	○	○	○	○			
		福祉実習Ⅳ	90	2				○	○	○	○	○	○			

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）						
(1)建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高邁な精神と豊かな教養に裏付けられた倫理観を身につけている。	(2)社会福祉専門職に求められる専門分野の基本的な知識・理論を体系的に修得している。	(3)様々な価値観を持つ人々を理解・受容できる対人関係力と論理的表現力を身につけている。	(4)自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて、生活問題、社会問題を認識し、課題を探求・設定し、多面的に考察することができる。			
1年次	共19-D1-1-教養基礎-1 共19-D1-1-教養基礎-2 共19-D1-1-教養基礎-3 共19-D1-1-教養基礎-4 共19-D1-1-教養基礎-5 共19-D1-1-教養基礎-6 共19-D1-1-教養基礎-7 共19-D1-1-教養基礎-8 共19-D1-1-教養基礎-9 共19-D1-1-教養基礎-10 共19-D1-1-教養基礎-11 共19-D1-1-教養基礎-12 共19-D1-1-教養基礎-13 共19-D1-1-教養基礎-14 共19-D1-1-教養基礎-15 共19-D1-1-教養基礎-16 共19-D1-1-教養基礎-17 共19-D1-1-教養基礎-18 共19-D1-1-教養基礎-19 共19-D1-1-教養基礎-20 共19-D1-1-教養基礎-21 共19-D1-1-教養基礎-22 共19-D1-1-教養基礎-23 共19-D1-1-教養基礎-24	聖隷の理念と歴史 キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教の歴史 哲学 文学 心理学 倫理学 女性学 生活福祉文化論 レクリエーション概論 音楽 健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツⅠ スポーツⅡ 日本国憲法 経済学 教育学 社会学 現代コミュニケーション論 生物学	医学概論 ここからからだⅠ 介護の基本Ⅰ 介護の基本Ⅱ 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程Ⅰ 介護過程Ⅱ 社会福祉学概論Ⅰ ソーシャルワーク概論Ⅰ ソーシャルワーク総論Ⅰ ソーシャルワーク総論Ⅱ	共19-D3-1-教養基礎-1 共19-D3-1-教養基礎-2 共19-D3-1-教養基礎-3 SS19-D3-1-教養基礎-1 SS19-D3-1-教養基礎-2 SS19-D3-1-専門-1 SS19-D3-1-専門-2 SS19-D3-1-専門-3 SS19-D3-1-専門-4 SS19-D3-1-専門-5	日本語表現法 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 生活支援技術Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ	
2年次	SS19-D1-2-専門基礎-1 SS19-D1-2-専門基礎-2 SS19-D1-2-専門基礎-3	SS19-D2-2-専門基礎-1 SS19-D2-2-専門基礎-2 SS19-D2-2-専門基礎-3 SS19-D2-2-専門基礎-4 SS19-D2-2-専門基礎-5 SS19-D2-2-専門基礎-6 SS19-D2-2-専門基礎-7 SS19-D2-2-専門基礎-8 SS19-D2-2-専門基礎-9 SS19-D2-2-専門基礎-10 SS19-D2-2-専門基礎-11 SS19-D2-2-専門基礎-12	認知症の理解Ⅰ ここからからだⅡ 介護の基本Ⅲ 介護の基本Ⅳ 障害者福祉論 医療的ケアⅠ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 公的扶助論 高齢者福祉論 ソーシャルワーク論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅲ 働き支援論 児童・家庭福祉論	SS19-D3-2-専門-1 SS19-D3-2-専門-2 SS19-D3-2-専門-3 SS19-D3-2-専門-4	コミュニケーション技術Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅰ 生活支援技術Ⅲ	SS19-D4-2-専門-1 ソーシャルワーク演習Ⅲ
3年次	SS19-D1-3-専門基礎-1 SS19-D1-3-専門-1 SS19-D1-3-専門-2 SS19-D1-3-専門-3 SS19-D1-3-専門-4	人間の尊厳と自立 生活支援技術Ⅳ 介護過程Ⅴ インターンシップⅠ インターンシップⅡ	発達と老化Ⅰ 障害の理解 介護の基本Ⅴ 社会福祉学概論Ⅱ 社会保険論Ⅰ 社会保険論Ⅱ ソーシャルワーク論Ⅳ 社会福祉経営論 社会福祉行政論 司法福祉論 医療福祉論	共19-D4-3-教養基礎-1 SS19-D4-3-専門-1 SS19-D4-3-専門-2 SS19-D4-3-専門-3 SS19-D4-3-専門-4 SS19-D4-3-専門-5 SS19-D4-3-専門-6 SS19-D4-3-専門-7	キャリアデザイン 総合演習Ⅰ 医療的ケアⅡ 医療的ケアⅢ 福祉計画論 社会調査論 福祉支援工学入門 福祉サービス工学入門	
4年次	SS19-D1-4-専門-1	生活支援技術Ⅴ	発達と老化Ⅱ 認知症の理解Ⅱ ここからからだⅢ 介護の基本Ⅵ	SS19-D4-4-専門-1 SS19-D4-4-専門-2 SS19-D4-4-専門-3	総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 福祉生体工学入門	

履修モデル（介護福祉学科）									
年次	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		必修科目（ゴシック）
	第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター	
介護福祉士指定科目	領域「介護」 ●介護の基本Ⅰ ●介護過程Ⅰ ●生活支援技術Ⅰ ●コミュニケーション技術Ⅰ ●介護総合演習Ⅰ ●介護実習Ⅰ	●介護の基本Ⅱ ●介護過程Ⅱ ●生活支援技術Ⅱ ●コミュニケーション技術Ⅱ ●介護総合演習Ⅱ ●介護実習Ⅱ	●介護の基本Ⅲ ●介護過程Ⅲ ●介護総合演習Ⅲ ●介護実習Ⅲ	●介護の基本Ⅳ ●介護過程Ⅳ ●生活支援技術Ⅲ ●コミュニケーション技術Ⅱ ●介護総合演習Ⅳ	●介護の基本Ⅴ ●介護過程Ⅴ ●生活支援技術Ⅳ	●介護の基本Ⅵ ●生活支援技術Ⅴ			
	領域「こころからだ」 ●こころからだⅠ ●▲医学概論		●認知症の理解Ⅰ ●▲障害者福祉論	●こころからだⅡ ●認知症の理解Ⅱ ●▲障害者福祉論	●発達と老化Ⅰ ●障害の理解	●発達と老化Ⅱ ●認知症の理解Ⅲ ●▲認知症の理解Ⅳ ●こころからだⅢ			
	領域「人間と社会」 ●▲社会福祉学概論Ⅰ ●▲介護福祉論 ●▲ソーシャルワーク演習Ⅰ	●▲法学 ●▲社会学	●▲社会福祉学概論Ⅱ ●▲介護福祉論 ●▲ソーシャルワーク演習Ⅱ	●高齢者福祉論 ●▲地域福祉論Ⅰ	●医療的ケアⅠ	●医療的ケアⅡ ●▲社会福祉学概論Ⅲ ●▲人間の尊厳と自立 ●介護福祉管理論			
本学独自科目	アダプテッドスポーツ			キリスト教社会福祉			介護福祉実践演習Ⅰ トップマネジメント論 チーム介護論 福祉生体工学入門	介護福祉実践演習Ⅱ	
社会福祉士指定科目	▲ソーシャルワーク総論Ⅰ ▲ソーシャルワーク総論Ⅱ	▲ソーシャルワーク総論Ⅰ ▲ソーシャルワーク総論Ⅱ	▲ソーシャルワーク総論Ⅰ ▲ソーシャルワーク総論Ⅱ ▲児童・家庭福祉論 ▲公的扶助論	▲ソーシャルワーク総論Ⅲ ▲ソーシャルワーク演習Ⅲ ▲社会保健論Ⅰ ▲社会福祉行政論 ▲福祉計画論	▲ソーシャルワーク演習Ⅳ ▲ソーシャルワーク演習Ⅴ ▲社会保健論Ⅱ ▲医療福祉論 ▲社会調査論 ▲社会福祉経営論 ▲司法福祉論	▲ソーシャルワーク演習Ⅵ			
関連科目	▲心理学		▲ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		▲ソーシャルワーク実習 ▲ソーシャルワーク実習指導Ⅱ				
実習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									
演習科目									

Ⅲ－５ 卒業に必要な単位数

1. 卒業の資格 (学則 39・40 条)

卒業の資格は、所定の修業年限以上在学し、学則に定める卒業に必要な単位を修得した者に与えられます。

2. 卒業に必要な 単位数の内訳 (学則 29 条別表 1-2, 1-4, 39 条 2 項)

介護福祉学科

教養基礎領域 計 25 単位 (必修 10 単位)	建学の精神	17 単位(必修 7 単位)
	自然・人間・社会	
	国際・地域	8 単位(必修 3 単位)
専門領域 計 86 単位 (必修 34 単位)	専門基礎科目	20 単位(必修 20 単位)
	専門科目	66 単位(必修 14 単位)
上記に加え教養基礎領域・専門領域及び 他学科履修科目から 14 単位		14 単位
卒業に必要な単位数		125 単位(必修 44 単位)

3. 他学科履修制度

本制度は、社会福祉の専門知識をより広く学修できる機会を提供することを目的として創設されました。これによって、他学科の教育課程にある専門領域の授業科目を一部履修することが可能となり、修得した単位は 14 単位を上限に卒業単位として認定されます。

本学科の他学科科目履修が可能な授業科目は以下の通りです。

こども教育福祉学科
保育原理 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 障害児保育 子育て支援 教育原理 発達心理学 子ども家庭支援の心理学 幼児理解の理論と方法 子どもの保健 子どもの健康と安全 子どもの食と栄養 保育内容総論 保育内容(健康) 保育内容(言葉) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 保育内容(表現) こどもと音楽 こどもと体育 こどもと美術 こどもと言葉 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子ども家庭支援論 多様な子どもの理解 多様な子どもの支援

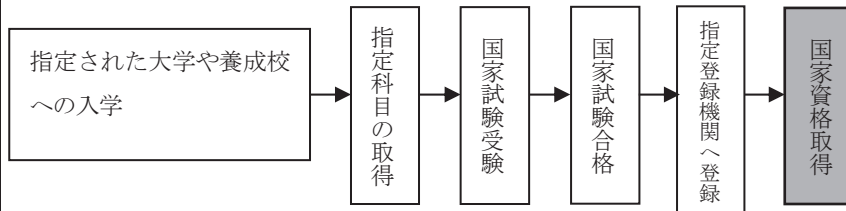
*但し、履修者数が学科の定員を超える場合は、履修できないことがあります。

Ⅲ－6 資格の取得

1. 介護福祉士・社会福祉士の資格取得

1. 国家試験受験資格

「介護福祉士」「社会福祉士」は「国家資格」と呼ばれ、それらを取得するためには、「国家試験」を受験し、合格する必要があります。そして、国家試験の受験資格を得るためには、大学や養成校などで一定の科目を取得しなければなりません。これを「国家試験受験資格」の取得といいます。本学科では「介護福祉士」「社会福祉士」がこれに該当します。



2. 各資格の職務

「介護福祉士」「社会福祉士」という国家資格を持つ人の職務は、つぎのように「社会福祉士及び介護福祉士法」で定められています。

介護福祉士	介護福祉士は、専門的知識及び技術をもって、身体上又は精神上の障害があることにより日常生活を営むのに支障がある者につき心身の状況に応じた介護を行い、並びにその者及びその介護者に対して介護に関する指導を行うことを職務とする。
社会福祉士	社会福祉士は、専門的知識及び技術を持って、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを職務とする。

2. 介護福祉士・社会福祉士の指定科目

「介護福祉士」「社会福祉士」の国家試験受験資格を得るためには、必ず履修しなければならない科目が決められています。これを「指定科目」と呼びます。厚生労働省令で定める各資格の「指定科目」は以下のとおりです。

本学科において「指定科目」を修めるためには、次の表に示す本学開講科目を全て履修し、単位を修得してください。

(ただし、社会福祉士については受験資格として * 印の科目から1科目)

1. 介護福祉士の指定科目一覧

指定科目	本学開講科目	単位
人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	2
人間関係とコミュニケーション	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	介護福祉管理論	2
社会の理解	介護福祉論	2
	社会福祉学概論Ⅰ	2
	地域福祉論Ⅰ	2
	高齢者福祉論	2
人間と社会に関する選択科目	法学	2
	社会学	2
介護の基本	介護の基本Ⅰ	2
	介護の基本Ⅱ	2
	介護の基本Ⅲ	2
	介護の基本Ⅳ	2
	介護の基本Ⅴ	2
	介護の基本Ⅵ	2
コミュニケーション技術	コミュニケーション技術Ⅰ	1
	コミュニケーション技術Ⅱ	1
生活支援技術	生活支援技術Ⅰ	2
	生活支援技術Ⅱ	2
	生活支援技術Ⅲ	2
	生活支援技術Ⅳ	2
	生活支援技術Ⅴ	2

指定科目	本学開講科目	単位
介護過程	介護過程Ⅰ	2
	介護過程Ⅱ	2
	介護過程Ⅲ	1
	介護過程Ⅳ	1
	介護過程Ⅴ	1
介護総合演習	介護総合演習Ⅰ	1
	介護総合演習Ⅱ	1
	介護総合演習Ⅲ	1
	介護総合演習Ⅳ	1
介護実習	介護実習Ⅰ	2
	介護実習Ⅱ	4
	介護実習Ⅲ	4
こころとからだのしくみ	こころとからだⅠ	2
	こころとからだⅡ	2
	こころとからだⅢ	2
	医学概論	2
発達と老化の理解	発達と老化Ⅰ	2
	発達と老化Ⅱ	2
認知症の理解	認知症の理解Ⅰ	2
	認知症の理解Ⅱ	2
障害の理解	障害者福祉論	2
	障害の理解	2
医療的ケア	医療的ケアⅠ	2
	医療的ケアⅡ	2
	医療的ケアⅢ	1

2. 社会福祉士の指定科目一覧

指定科目	本学開講科目	単位
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2
心理学理論と心理的支援	心理学	2
社会理論と社会システム	社会学	2
現代社会と福祉	社会福祉学概論Ⅰ	2
	社会福祉学概論Ⅱ	2
社会調査の基礎	社会調査論	2
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク総論Ⅰ	2
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	2
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅰ	2
	ソーシャルワーク論Ⅱ	2
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2
地域福祉の理論と方法	地域福祉論Ⅰ	2
	地域福祉論Ⅱ	2
福祉行財政と福祉計画	社会福祉行政論	1
	福祉計画論	1
福祉サービスの組織と経営	社会福祉経営論	2
社会保障	社会保障論Ⅰ	2
	社会保障論Ⅱ	2

指定科目	本学開講科目	単位
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論	2
	介護福祉論	2
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論	2
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童・家庭福祉論	2
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	2
保健医療サービス	医療福祉論	2
就労支援サービス	就労支援論	1
権利擁護と成年後見制度	法学	2
更生保護制度	司法福祉論	1
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	2
	ソーシャルワーク演習Ⅵ	1
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2
相談援助実習	ソーシャルワーク実習	4

IV-7 その他の資格取得

1. 社会福祉主事

1. 社会福祉主事とは

社会福祉主事は、社会福祉行政の第一線の現業機関である福祉事務所で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり福祉事務所の職員として任用されるときに必要となります。

2. 指定科目

本学科では、介護福祉士、社会福祉士の指定科目を履修すれば付与されます。

2. 児童指導員

1. 児童指導員とは

児童指導員は、児童福祉施設で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり児童福祉施設の職員として任用されるときに必要となります。

2. 指定科目

「指定科目」はありません。本学科を卒業すれば自動的に付与されます。

3. 初級障がい者スポーツ指導員

1. 初級障がい者スポーツ指導員とは

初級障がい者スポーツ指導員は、障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員です。健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担います。地域の大会や教室など、スポーツ現場におけるサポートを行います。

この資格は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の「認定資格」です。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は1964年東京パラリンピックを契機に設立された、日本国内の障がい者スポーツの統括組織です。

資格取得後は、経験を積み講習会を受講することで中級・上級指導員にステップアップできます。

2. 指定科目

本学科でこの資格を取得するには、「指定科目」を履修し、登録する必要があります。

基準カリキュラム	必要 時間数	本学開講科目	単位	備考
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	2	社会福祉学概論Ⅰ	2	
		アダプテッド・スポーツ	2	
ボランティア論	2	ボランティア論	1	**
障がい者スポーツの意義と理念	2	アダプテッド・スポーツ	2	*
安全管理	1			
障がいの理解とスポーツ	5			
(公財) 日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導者制度	1			
全国障害者スポーツ大会の概要	1			
障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）	2			
障がい者との交流（実技）	2	地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ	1	***

* 「アダプテッド・スポーツ」は、1年次秋semester開講科目です。2年次生以降に履修することも可能です。

** 「ボランティア論」は1年次春semesterまたは2年次春semesterに履修しましょう。

*** 「地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」はアダプテッド・スポーツについて、1単位以上履修してください。
実際に、地域のアダプテッド・スポーツ活動に参加します。

IV-1 こども教育福祉学科のカリキュラムの特徴と構成

1. カリキュラム構成 の特徴

家族関係、近隣関係の変化により、子育て不安や虐待などが大きな社会問題となっている現代、子どもに関わる専門職者には、子どもに対するより高度なケアのほか、家族に対する支援や、子育てしやすい地域環境づくり等が求められてきています。そのため、こども教育福祉学科では、社会福祉に関する理念・価値・方法を基盤に、子どもへの保育と教育、家族支援、地域環境づくりに対応できる専門職者の養成を目指し、以下の共通テーマを学科の学びの柱として掲げています。

(1) 教育・保育に関する技術と相談援助

子どもの教育・保育（特別支援を含む）のための知識と技術、家族によりそうための相談援助の知識と技術、地域におけるネットワーキングの知識と技術をしっかりと学びます。

(2) 実践的な学修

講義を基盤とした演習・実習・インターンシップ・ボランティア等の現場体験を重視し、実践的な指導法を学びます。

(3) 社会参加

人々の社会参加を支援するとともに、自らも社会の一員として貢献できる専門職者を目指して学修します。

2. 取得資格と キャリア・プラン

こども教育福祉学科では3つの資格が取得できます。これらの資格は卒業後のキャリア・プランと連動し、将来像を見据えた学びの道標となります。将来を考えた資格組み合わせの主なものを以下に示します。

保育士・幼稚園教諭1種免許状

保育所、幼稚園、認定こども園等で、主に就学前の子どもの保育・幼児教育を行う専門職者を目指します。また、子育て支援や地域の関係機関との連携に必要な専門知識を身につけ、家族や地域を支えるための学びを深めます。

小学校教諭1種免許状・幼稚園教諭1種免許状

小学校等で、主に児童期の子どもの教育に携わる以下のような専門職者を目指します。

- ・社会福祉をベースに子どもを取り巻く生活上の問題に対して、制度やサービス、環境面から支援を行うことができる教員
- ・多職種と連携しながら、多文化共生社会の中で多様な子どもたちの育ちを支えることができるチーム学校の中心となる教員
- ・主体性や国際的な視点を持った全人教育を推進する教員

保育士（・児童指導員・社会福祉主事）

障がいのある子どもや社会的養護を必要とする子どもの施設等で、養育・療育・保育を行う専門職者を目指します。人によりそうためのコミュニケーション・相談援助・ネットワーキングの知識と技術・就労支援や自立支援の方法をしっかりと学びます。また、子育て支援や地域の関係機関との連携に必要な専門知識を身につけ、家族や地域を支えるための学びを深めます。

3. 希望取得資格決定までの流れ

- 1 年次 4 月 新入生オリエンテーション 取得できる資格の説明
- 1 年次 9 月 秋セメスター開始時 基礎免許・資格希望届の提出
- 1 年次 1 月 秋セメスター終了時 免許・資格取得に関するガイダンス
- 2 年次 4 月 春セメスターガイダンス 免許・資格希望届の提出
- ＊以降の免許・資格希望の変更には、免許・資格変更届(保護者印が必要)を提出します。
- ＊基礎免許・資格の変更は、2 年次秋セメスター終了時もしくは 4 年次春セメスター終了時に基礎免許・資格変更希望願を提出します。
- 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の 3 資格の取得を希望する場合、原則として、前年度までの必修科目、資格指定科目をすべて取得できていることを条件とします。必修科目、資格指定科目を 2 科目以上取得できていない場合は、4 年間で 3 資格すべてを取得することは困難になります。
- ガイダンス等を通して、自らのキャリア・プランをよく考え、教員や保護者とも相談し、希望資格への理解と動機付けを高めましょう。

IV-2 実習科目の構成とその内容

1. 実習科目の種類と概要

(1) 資格実習

実習科目の種類

資格	科目名
①保育士登録資格	保育実習ⅠA、ⅠB、Ⅱ、Ⅲ (第 4～6 セメスター)
②幼稚園教諭 1 種免許状	教育実習(幼) (第 7 セメスター)
③小学校教諭 1 種免許状	教育実習(小) (第 7 セメスター)

資格実習については別途、「実習の手引き」などを配付し、詳細についてオリエンテーションを行います。

(2) 資格外実習

- 1) 国際福祉実習 インド、ブラジル、韓国などの社会福祉施設で実習を行い、その国の社会福祉事情や文化を体験的に学びます。第 4～8 セメスターで開講されます。実習期間に応じて科目名がⅠからⅡまで設定してあります。
- 2) 国際教育実習 海外(英語圏)の学校などで実習を行い、その国の教育事情や文化を体験的に学びます。第 4～8 セメスターで開講されます。実習期間に応じて科目名がⅠからⅡまで設定してあります。
- 3) 小学校インターンシップ 小学校教諭を目指す学生は、自ら選んだ小学校及び聖隷クリストファー小学校において、インターンシップを行います。第 4～6 セメスターで開講されます。
- 4) 福祉実習 学生が自らの関心や目的に応じて福祉施設における実習先、実習内容などを先方と調整し行われる実習を福祉実習と位置付けています。第 3～8 セメスターで開講されます。
- 5) インターンシップ 学生が自らの関心や目的に応じて福祉施設以外のインターンシップ先、インターンシップ内容などを先方と調整し行われる実習をインターンシップと位置付けています。第 3～8 セメスターで開講されます。

2. 実習・インターンシップの費用

別途徴収します。また、実習やインターンシップにおける滞在費・宿泊費・食費・交通費等は、全額自己負担となります。詳しくは各実習・インターンシップで説明します。

3. 実習・インターンシップの単位認定

各実習・インターンシップ科目を修得するには、実習先等での実習のほかに、必ず大学において事前指導と事後指導を受けます。

「資格実習」では、各資格の指定科目になっている「保育実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「教育実習指導」を履修する必要があります。詳しくは履修ガイダンス等で説明します。

「国際福祉実習」、「国際教育実習」、「小学校インターンシップ」、「福祉実習」、「インターンシップ」では、原則として担当教員から事前指導、事後指導を受けることになります。

Ⅳ-3 演習科目の構成とその内容

**1. 実践系演習と
教養・研究系演習**

「実技系演習」とは、保育に関する具体的な技術を修得できるように、フィールドワーク等を取り入れながら保育者として必要な実践的な力量を培います。実際の現場に即した技術を実践する形式で進められる授業です。また、具体的な援助スキルを修得できるように、講義で学んだ援助スキルを学生同士の間で実際に使ってみる形式で進められる授業です。

「教養・研究系演習」とは、大学を卒業して社会人として、また実践者として必要となる「読む」「書く」「考える」「探求する」「討議する」などの能力を養い、専門的な学修を進めることを目的としています。小グループ形式で授業を行います。

2. 基礎演習Ⅰ・Ⅱ

第1・2セメスターに開講され、大学で学ぶための基礎的な諸能力を養い、4年間の学修の基盤を形成することを目的とします。

3. 総合演習Ⅰ・Ⅱ

第6・7・8セメスターに開講されます。学生は自分の関心に基づいてテーマを設定し、大学での学修の総括として、テーマについて担当教員の指導のもと学修を深め、最終的には成果物にまとめるなどします。

**4. 保育実践演習
教職実践演習
(幼・小)**

第8セメスターに開講されます。これまでの履修カルテや実習評価をもとに、実践者としてのスキルアップを図ります。また演習を通して社会性や対人関係能力を高め、現場に出た際の責任感や心構えを構築していくことを目的とします。

IV-4 教育課程・カリキュラムマップ・履修モデル(こども教育福祉学科)

社会福祉学部 こども教育福祉学科 教育課程

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数	
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ		
基礎領域	建学の精神	聖隷の理念と歴史	★	30	2	◎	◎								
		キリスト教概論	★	30	2	◎	◎								
		キリスト教人間論	★	15	1	○	○								
		キリスト教の歴史	★	15	1			○	○						
		キリスト教倫理	★	15	1					○	○				
	自然・人間・社会	哲学	★	30	2	○		○							
		文学	★	30	2	○	○	○	○						
		心理学	★	30	2	○	○	○	○						
		倫理学	★	30	2		○		○						
		女性学	★	30	2	○		○							
		生活福祉文化論	★	30	2	○	○								
		レクリエーション概論	★	30	2	○	○	○	○						
		音楽	★	30	1	○	○	○	○						
		健康スポーツ論	★	15	1	○	○								
		健康スポーツ実践	★	30	1	○	○								
		スポーツⅠ	★	30	1	○	○	○	○						
		スポーツⅡ	★	30	1	○	○	○	○						
		法学	★	30	2	○	○	○	○						
		日本国憲法	★	30	2		○	○	○						
		経済学	★	30	2	○									
		教育学	★	30	2	○	○	○	○						
		社会学	★	30	2	○	○	○	○						
		現代コミュニティ論	★	30	2	○	○	○	○						
		生物学	★	30	2	○		○							
		基礎演習Ⅰ		30	1	◎									
		基礎演習Ⅱ		30	1		◎								
		日本語表現法	★	30	2	○	○	○	○						
		情報処理A	★	30	1	○									
		情報処理B	★	30	1		○								
		キャリアデザイン	★	15	1						◎				
		国際・地域	英語Ⅰ	★	30	1	◎								
			英語Ⅱ	★	30	1		◎							
			英語Ⅲ		30	1			○						
英語Ⅳ	★		30	1				○							
英語Ⅴ	★		30	1					○						
中国語	★		30	1			○	○							
外国語	★		30	1	○	○	○	○	○	○	○	○			
海外研修	★		30	1	○	○	○	○	○	○	○	○			
ブラジル文化と言語	★		30	2	○	○									
現代の国際社会	★		30	2	○	○									
文化人類学	★		30	2	○										
国際支援入門	★		15	1	○										
国際支援アクティブラーニングⅠ	★		30	1			○								
国際支援アクティブラーニングⅡ	★		30	1			○								
地域ケア連携の基礎	★		15	1	◎										
地域実践アクティブラーニングⅠ	★		30	1		○		○		○					
地域実践アクティブラーニングⅡ	★		30	1				○		○					
地域実践アクティブラーニングⅢ	★		30	1						○					
ボランティア論	★		15	1	○										
ボランティア演習	★		30	1		○		○		○			○		
大学間交流授業	★	30	2		○		○		○			○			

「開講年次」欄の◎と○は、それぞれ卒業要件のための必修科目と選択科目です。

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な 単位数	
						1年次		2年次		3年次		4年次			
						1 セ メ	2 セ メ	3 セ メ	4 セ メ	5 セ メ	6 セ メ	7 セ メ	8 セ メ		
専門領域	専門基礎科目	キリスト教教育		15	1				○					14 単位以上	
		キリスト教保育		15	1				○						
		キリスト教社会福祉		15	1				○						
		社会福祉学概論Ⅰ		30	2	◎									
		ソーシャルワーク総論Ⅰ		30	2	◎									
		ソーシャルワーク演習Ⅰ		30	2		◎								
		総合演習Ⅰ		30	2						◎				
		総合演習Ⅱ		30	2							◎			
		保育実践演習		30	2								○		
		教職実践演習（幼・小）		30	2								○		
	専門科目	地域ケア連携演習	★	30	1								○		72 単位以上
		教育原理		30	2	○									
		教職概論		30	2	○									
		教育制度論		30	2							○			
		教育心理学		30	2				○						
		発達心理学		30	2		○								
		特別支援教育		15	1				○						
		教育課程論		30	2							○			
		道徳理論と指導法		30	2						○				
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		30	2							○			
		教育方法・技術論		30	2							○			
		生徒・進路指導論		30	2							○			
		教育相談		30	2						○				
		幼児理解の理論と方法		30	1			○							
		教育実習指導		45	1								○		
		教育実習（幼・小）		180	4								○		
		国語科指導法		30	2			○							
		社会科指導法		30	2				○						
		算数科指導法		30	2			○							
		理科指導法		30	2						○				
		生活科指導法		30	2							○			
		音楽科指導法		30	2							○			
		図画工作科指導法		30	2						○				
		家庭科指導法		30	2						○				
		体育科指導法		30	2							○			
		英語指導法		30	2							○			
		国語		30	2			○							
		社会		30	2				○						
		算数		30	2			○							
		理科		30	2					○					
		こどもと生活		30	2	○									
		こどもと音楽		30	1			○							
		こどもと美術		30	1			○							
		家庭		30	2				○						
		こどもと体育		30	1	○									
		こどもと英語		30	2					○					
		こどもと言葉		30	1				○						
		こどもの歌と伴奏		30	1					○					
		器楽		30	1			○							
		保育内容（健康）		30	2				○						
		保育内容（言葉）		30	2				○						
		保育内容（人間関係）		30	2				○						
		保育内容（環境）		30	2					○					
		保育内容（表現）		30	2						○				
		保育内容総論		30	2						○				
		障害児保育		30	2						○				
		臨床心理学		30	2					○					

区分		授業科目	共通科目	時間数	単位数	開講年次								卒業に必要な単位数
						1年次		2年次		3年次		4年次		
						1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	
専門領域	専門科目	小学校インターンシップⅠ		45	1				○					
		小学校インターンシップⅡ		45	1					○				
		小学校インターンシップⅢ		45	1						○			
		国際バカロレア教育概論		30	2						○			
		国際バカロレア教育課程論		30	2							○		
		国際バカロレア教育方法論		30	2								○	
		国際バカロレア教育学習アセスメント		30	2							○		
		国際バカロレア教育総合演習		30	2								○	
		多文化共生と教育		30	2							○		
		多様な子どもの理解		30	2					○				
		多様な子どもの支援		30	2						○			
		プログラミング教育Ⅰ		30	1							○		
		プログラミング教育Ⅱ		30	1								○	
		国際教育実習Ⅰ		30	2				○	○	○	○	○	
		国際教育実習Ⅱ		30	2				○	○	○	○	○	
		保育原理		30	2	○								
		子ども家庭支援論		30	2					○				
		社会的養護Ⅰ		30	2			○						
		保育者論		30	1		○							
		子ども家庭支援の心理学		30	2	○								
		子どもの保健		30	2			○						
		子どもの食と栄養		30	2		○							
		保育の計画と評価		15	1				○					
		乳児保育Ⅰ		30	2	○								
		乳児保育Ⅱ		15	1		○							
		子どもの健康と安全		15	1				○					
		社会的養護Ⅱ		15	1				○					
		子育て支援		15	1						○			
		保育実習指導Ⅰ		60	2				○					
		保育実習指導Ⅱ		15	1						○			
		保育実習指導Ⅲ		15	1						○			
		保育実習ⅠA		90	2				○					
		保育実習ⅠB		90	2					○				
		保育実習Ⅱ		90	2						○			
		保育実習Ⅲ		90	2						○			
		児童・家庭福祉論		30	2			○						
		社会福祉学概論Ⅱ		30	2						○			
		ソーシャルワーク総論Ⅱ		30	2		○							
		ソーシャルワーク論Ⅰ		30	2		○							
		ソーシャルワーク論Ⅱ		30	2			○						
ソーシャルワーク演習Ⅱ		30	2			○								
地域福祉論Ⅰ		30	2			○								
社会福祉発達史		15	1				○							
アダプテッド・スポーツ		30	2		○									
国際福祉実習Ⅰ		90	2				○	○	○	○	○			
国際福祉実習Ⅱ		90	2				○	○	○	○	○			
インターンシップⅠ		90	2			○	○	○	○	○	○			
インターンシップⅡ		90	2			○	○	○	○	○	○			
福祉実習Ⅰ		90	2			○	○	○	○	○	○			
福祉実習Ⅱ		90	2			○	○	○	○	○	○			

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)					
(1)建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」に基づいた高潔な精神と高い倫理観と教育・保育の専門職者として必要な豊かな教養を身につけている。					
(2)教育・保育の専門職者に求められる専門分野の基本的な知識・理論や技術を体系的に修得している。					
(3)様々な価値観や立場、意見を尊重した対人関係力と論理的表意能力を身につけている。					
(4)設定した課題について自らの専門分野や関連諸学の学識を用いて広い視野で議論し、考察することができる。					
1 年 次 共19-D1-1-教養基礎-1 共19-D1-1-教養基礎-2 共19-D1-1-教養基礎-3 共19-D1-1-教養基礎-4 共19-D1-1-教養基礎-5 共19-D1-1-教養基礎-6 共19-D1-1-教養基礎-7 共19-D1-1-教養基礎-8 共19-D1-1-教養基礎-9 共19-D1-1-教養基礎-10 共19-D1-1-教養基礎-11 共19-D1-1-教養基礎-12 共19-D1-1-教養基礎-13 共19-D1-1-教養基礎-14 共19-D1-1-教養基礎-15 共19-D1-1-教養基礎-16 共19-D1-1-教養基礎-17 共19-D1-1-教養基礎-18 共19-D1-1-教養基礎-19 共19-D1-1-教養基礎-20 共19-D1-1-教養基礎-21 共19-D1-1-教養基礎-22 共19-D1-1-教養基礎-23 共19-D1-1-教養基礎-24	児童の理念と歴史 キリスト教概論 キリスト教人間論 キリスト教の歴史 キリスト教倫理 哲学 文学 心理学 倫理学 女性学 生活福祉文化論 レクリエーション概論 音楽 健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツⅠ スポーツⅡ 法學 日本国憲法 経済学 社会学 社会心理学 現代コミュニケーション 生物学	SC19-D2-1-専門基礎-1 SC19-D2-1-専門基礎-2 SC19-D2-1-専門基礎-3 SC19-D2-1-専門基礎-4 SC19-D2-1-専門基礎-5 SC19-D2-1-専門基礎-6 SC19-D2-1-専門基礎-7 SC19-D2-1-専門基礎-8 SC19-D2-1-専門基礎-9 SC19-D2-1-専門基礎-10 SC19-D2-1-専門基礎-11 SC19-D2-1-専門基礎-12 SC19-D2-1-専門基礎-13 SC19-D2-1-専門基礎-14 SC19-D2-1-専門基礎-15 SC19-D2-1-専門基礎-16 SC19-D2-1-専門基礎-17	社会福祉学概論Ⅰ ソーシャルワーク概論Ⅰ 教育原理 発達心理学 国語 算数 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	共19-D3-1-教養基礎-1 共19-D3-1-教養基礎-2 共19-D3-1-教養基礎-3 共19-D3-1-教養基礎-4 共19-D3-1-教養基礎-5 共19-D3-1-教養基礎-6 共19-D3-1-教養基礎-7 共19-D3-1-教養基礎-8 共19-D3-1-教養基礎-9 共19-D3-1-教養基礎-10 共19-D3-1-教養基礎-11 共19-D3-1-教養基礎-12 共19-D3-1-教養基礎-13 共19-D3-1-教養基礎-14 共19-D3-1-教養基礎-15 共19-D3-1-教養基礎-16 共19-D3-1-教養基礎-17 共19-D3-1-教養基礎-18 共19-D3-1-教養基礎-19 共19-D3-1-教養基礎-20 共19-D3-1-教養基礎-21 共19-D3-1-教養基礎-22 共19-D3-1-教養基礎-23 共19-D3-1-教養基礎-24	日本語表現法 情報処理A 情報処理B 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅰ
2 年 次 共19-D2-1-教養基礎-1 共19-D2-1-教養基礎-2 共19-D2-1-教養基礎-3 共19-D2-1-教養基礎-4 共19-D2-1-教養基礎-5 共19-D2-1-教養基礎-6 共19-D2-1-教養基礎-7 共19-D2-1-教養基礎-8 共19-D2-1-教養基礎-9 共19-D2-1-教養基礎-10 共19-D2-1-教養基礎-11 共19-D2-1-教養基礎-12 共19-D2-1-教養基礎-13 共19-D2-1-教養基礎-14 共19-D2-1-教養基礎-15 共19-D2-1-教養基礎-16 共19-D2-1-教養基礎-17 共19-D2-1-教養基礎-18 共19-D2-1-教養基礎-19 共19-D2-1-教養基礎-20 共19-D2-1-教養基礎-21 共19-D2-1-教養基礎-22 共19-D2-1-教養基礎-23 共19-D2-1-教養基礎-24	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	SC19-D2-2-専門-1 SC19-D2-2-専門-2 SC19-D2-2-専門-3 SC19-D2-2-専門-4 SC19-D2-2-専門-5 SC19-D2-2-専門-6 SC19-D2-2-専門-7 SC19-D2-2-専門-8 SC19-D2-2-専門-9 SC19-D2-2-専門-10 SC19-D2-2-専門-11 SC19-D2-2-専門-12 SC19-D2-2-専門-13 SC19-D2-2-専門-14 SC19-D2-2-専門-15 SC19-D2-2-専門-16 SC19-D2-2-専門-17 SC19-D2-2-専門-18 SC19-D2-2-専門-19 SC19-D2-2-専門-20 SC19-D2-2-専門-21 SC19-D2-2-専門-22 SC19-D2-2-専門-23 SC19-D2-2-専門-24 SC19-D2-2-専門-25 SC19-D2-2-専門-26	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	共19-D4-3-教養基礎-1 共19-D4-3-専門基礎-1	キャリアデザイン 総合演習Ⅰ
3 年 次 共19-D3-1-教養基礎-1 共19-D3-1-教養基礎-2 共19-D3-1-教養基礎-3 共19-D3-1-教養基礎-4 共19-D3-1-教養基礎-5 共19-D3-1-教養基礎-6 共19-D3-1-教養基礎-7 共19-D3-1-教養基礎-8 共19-D3-1-教養基礎-9 共19-D3-1-教養基礎-10 共19-D3-1-教養基礎-11 共19-D3-1-教養基礎-12 共19-D3-1-教養基礎-13 共19-D3-1-教養基礎-14 共19-D3-1-教養基礎-15 共19-D3-1-教養基礎-16 共19-D3-1-教養基礎-17 共19-D3-1-教養基礎-18 共19-D3-1-教養基礎-19 共19-D3-1-教養基礎-20 共19-D3-1-教養基礎-21 共19-D3-1-教養基礎-22 共19-D3-1-教養基礎-23 共19-D3-1-教養基礎-24	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	SC19-D3-2-専門-1 SC19-D3-2-専門-2 SC19-D3-2-専門-3 SC19-D3-2-専門-4 SC19-D3-2-専門-5 SC19-D3-2-専門-6 SC19-D3-2-専門-7 SC19-D3-2-専門-8 SC19-D3-2-専門-9 SC19-D3-2-専門-10 SC19-D3-2-専門-11 SC19-D3-2-専門-12 SC19-D3-2-専門-13 SC19-D3-2-専門-14 SC19-D3-2-専門-15 SC19-D3-2-専門-16 SC19-D3-2-専門-17 SC19-D3-2-専門-18 SC19-D3-2-専門-19 SC19-D3-2-専門-20 SC19-D3-2-専門-21 SC19-D3-2-専門-22 SC19-D3-2-専門-23 SC19-D3-2-専門-24 SC19-D3-2-専門-25 SC19-D3-2-専門-26	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	共19-D4-3-教養基礎-1 共19-D4-3-専門基礎-1	キャリアデザイン 総合演習Ⅰ
4 年 次 共19-D4-1-教養基礎-1 共19-D4-1-教養基礎-2 共19-D4-1-教養基礎-3 共19-D4-1-教養基礎-4 共19-D4-1-教養基礎-5 共19-D4-1-教養基礎-6 共19-D4-1-教養基礎-7 共19-D4-1-教養基礎-8 共19-D4-1-教養基礎-9 共19-D4-1-教養基礎-10 共19-D4-1-教養基礎-11 共19-D4-1-教養基礎-12 共19-D4-1-教養基礎-13 共19-D4-1-教養基礎-14 共19-D4-1-教養基礎-15 共19-D4-1-教養基礎-16 共19-D4-1-教養基礎-17 共19-D4-1-教養基礎-18 共19-D4-1-教養基礎-19 共19-D4-1-教養基礎-20 共19-D4-1-教養基礎-21 共19-D4-1-教養基礎-22 共19-D4-1-教養基礎-23 共19-D4-1-教養基礎-24	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	SC19-D4-2-専門-1 SC19-D4-2-専門-2 SC19-D4-2-専門-3 SC19-D4-2-専門-4 SC19-D4-2-専門-5 SC19-D4-2-専門-6 SC19-D4-2-専門-7 SC19-D4-2-専門-8 SC19-D4-2-専門-9 SC19-D4-2-専門-10 SC19-D4-2-専門-11 SC19-D4-2-専門-12 SC19-D4-2-専門-13 SC19-D4-2-専門-14 SC19-D4-2-専門-15 SC19-D4-2-専門-16 SC19-D4-2-専門-17 SC19-D4-2-専門-18 SC19-D4-2-専門-19 SC19-D4-2-専門-20 SC19-D4-2-専門-21 SC19-D4-2-専門-22 SC19-D4-2-専門-23 SC19-D4-2-専門-24 SC19-D4-2-専門-25 SC19-D4-2-専門-26	教育心理学 特別支援教育 幼児理解の理論と方法 国語科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科 家庭 こどもと英語 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 こどもと生活 こどもと音楽 こどもと美術 こどもと体育 音楽 保育原理 保育者論 子ども家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅱ ソーシャルワーク概論Ⅰ	共19-D4-3-教養基礎-1 共19-D4-3-専門基礎-1	キャリアデザイン 総合演習Ⅰ

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
(5)専門分野の知識・理論や技術等を総合的に活用して、個々の子どもに合わせ、援助・指導する実践力を備えている。	(6)教育・保育の領域において自らの専門性を自覚し、多職種と連携・協働することができる。	(7)教育・保育に関する地域社会・国際社会のニーズを捉え、専門職として使命感をもちながら貢献し、自己研鑽することができる。		
SC19-D5-1-専門-1	アダプテッド・スポート	教職概論	SC19-D6-1-専門-1	英語Ⅰ 英語Ⅱ 外国語 海外研修 ブラジル文化と言語 現代の国際社会 文化人類学 国際支援入門 地域ケア連携の基礎 地域実践プログラムⅠ ボランティア論 ボランティア実習 大学間交流授業
1 年 次			共19-D7-1-教養基礎-1 共19-D7-1-教養基礎-2 共19-D7-1-教養基礎-3 共19-D7-1-教養基礎-4 共19-D7-1-教養基礎-5 共19-D7-1-教養基礎-6 共19-D7-1-教養基礎-7 共19-D7-1-教養基礎-8 共19-D7-1-教養基礎-9 共19-D7-1-教養基礎-10 共19-D7-1-教養基礎-11 共19-D7-1-教養基礎-12 共19-D7-1-教養基礎-13	英語Ⅰ 英語Ⅱ 外国語 海外研修 ブラジル文化と言語 現代の国際社会 文化人類学 国際支援入門 地域ケア連携の基礎 地域実践プログラムⅠ ボランティア論 ボランティア実習 大学間交流授業
SC19-D5-2-専門-1 SC19-D5-2-専門-2 SC19-D5-2-専門-3 SC19-D5-2-専門-4 SC19-D5-2-専門-5 SC19-D5-2-専門-6 SC19-D5-2-専門-7	小学校インターンシップⅠ 保育実習指導Ⅰ 保育実習ⅠA インターンシップⅠ インターンシップⅡ 福祉実習Ⅰ 福祉実習Ⅱ		共19-D7-2-教養基礎-1 共19-D7-2-教養基礎-2 共19-D7-2-教養基礎-3 共19-D7-2-教養基礎-4 共19-D7-2-教養基礎-5 SC19-D7-2-教養基礎-1 SC19-D7-2-専門-1 SC19-D7-2-専門-2 SC19-D7-2-専門-3 SC19-D7-2-専門-4 SC19-D7-2-専門-5	英語Ⅳ 中国語 国際支援プログラムⅠ 国際支援プログラムⅡ 地域実践プログラムⅡ 英語Ⅲ 国際教育実習Ⅰ 国際教育実習Ⅱ 社会的養護Ⅱ 国際福祉実習Ⅰ 国際福祉実習Ⅱ
2 年 次				
SC19-D5-3-専門-1 SC19-D5-3-専門-2 SC19-D5-3-専門-3 SC19-D5-3-専門-4 SC19-D5-3-専門-5 SC19-D5-3-専門-6 SC19-D5-3-専門-7	小学校インターンシップⅡ 小学校インターンシップⅢ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	多様な子どもの理解 多様な子どもの支援 子ども家庭支援論	SC19-D6-3-専門-1 SC19-D6-3-専門-2 SC19-D6-3-専門-3	英語Ⅴ 地域実践プログラムⅠ 国際ベカローレ教育概論 子育て支援
3 年 次				
SC19-D5-4-専門基礎-1 SC19-D5-4-専門基礎-2 SC19-D5-4-専門-1 SC19-D5-4-専門-2	保育実践演習 教職実践演習 教育実習指導 教育実習(幼・小) 教育実習(幼・小)		共19-D7-4-専門-1 SC19-D7-4-専門-1 SC19-D7-4-専門-2 SC19-D7-4-専門-3 SC19-D7-4-専門-4 SC19-D7-4-専門-5	地域ケア連携演習 国際ベカローレ教育概論 国際ベカローレ教育方法論 国際ベカローレ教育学習プロジェクト 国際ベカローレ教育総合演習 多文化共生と教育
4 年 次				

履修モデル（こども教育福祉学科）									
必修科目（ゴシック）									
年次	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		
	第 1 セメスター	第 2 セメスター	第 3 セメスター	第 4 セメスター	第 5 セメスター	第 6 セメスター	第 7 セメスター	第 8 セメスター	
小 学 定 校 教 育 論			国語科指導法 算数科指導法	社会科指導法	道徳理論と指導法 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 理科指導法 図画工作指導法 家庭科指導法	生徒・進路指導論 生活科指導法 音楽科指導法 体育科指導法 英語指導法			
幼稚園教諭 保育士 認定 教諭 資格 取得 科目	こどもと生活	国語 算数 発達心理学 こどもと音楽 こどもと美術	社会 家庭	理科 こどもと英語 教育心理学 特別支援教育 キリスト教教育 キリスト教保育 キリスト教社会福祉	教育方法・技術論 教育相談	教育制度論 教育課程論			教職実践演習(幼・小)
	社会福祉学概論Ⅰ ソーシャルワーク総論Ⅰ	ソーシャルワーク総論Ⅰ	幼児理解の理論と方法 こどもと言葉 保育内容(健康) 保育内容(言葉) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) こどもの歌と伴奏	保育内容(表現) 児童・家庭福祉論 社会的養護Ⅰ 子どもの健康と安全	障害児保育 保育内容総論				
保育士 士 指 定 科 目	幼・保				子ども家庭支援論	子育て支援			保育実践演習
	保育原理 子ども家庭支援の心理学 乳児保育Ⅰ	保育者論 子どもの食と栄養 乳児保育Ⅱ	児童・家庭福祉論 社会的養護Ⅰ 子どもの健康と安全	保育の計画と評価 社会的養護Ⅱ 子どもの健康と安全	多様な子どもとの理解 国際バカロレア教育概論 社会福祉学概論Ⅱ	多様な子どもとの支援 国際バカロレア教育概論 国際バカロレア教育学習アセスメント プログラミング教育Ⅰ プログラミング教育Ⅱ			
(選 択 科 目)	基礎演習Ⅰ	基礎演習Ⅱ			総合演習Ⅰ	総合演習Ⅱ			
	地域ケア連携の基礎				小学校インターンシップⅠ 地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ 国際支援アクティブラーニングⅠ・Ⅱ 国際教育実習Ⅰ・Ⅱ 国際福祉実習Ⅰ・Ⅱ	小学校インターンシップⅢ 地域ケア連携演習			
演 習 科 目					保育実習ⅠA 保育実習ⅠB 保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ	保育実習Ⅱ・Ⅲ 保育実習指導Ⅱ・Ⅲ			
					福祉実習Ⅰ・Ⅱ インターンシップⅠ・Ⅱ		教育実習(幼・小) 教育実習指導		
実 習 科 目									
- 自然・人間・社会 - 哲学 文学 心理学 倫理学 女性学 生活福祉文化論 レクリエーション概論 音楽 健康スポーツ論 健康スポーツ実践 スポーツⅠ・Ⅱ 法学 日本国憲法 経済学 社会学 現代コミュニケーション論 生物学 日本語表現法 情報処理A・B - 建学の精神 - 基礎の理念と歴史 キリスト教概論 キリスト教の歴史 キリスト教概論 キリスト教概論 - 国際・地域 - 英語Ⅰ・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ 中国語 外国語 海外研修 フラジル文化と言語 現代の国際社会 文化人類学 国際支援入門 ボランティア論 ボランティア演習 大学間交流授業									

IV-5 卒業に必要な単位数

1. 卒業の資格 (学則 39・40 条)

卒業の資格は、所定の修業年限以上在学し、学則に定める卒業に必要な単位を修得した者に与えられます。

2. 卒業に必要な 単位数の内訳 (学則 29 条別表 1-2, 1-5, 39 条2 項)

こども教育福祉学科		
教養基礎領域 計 25 単位 (必修 10 単位)	建学の精神	17 単位(必修 7 単位)
	自然・人間・社会	
	国際・地域	8 単位(必修 3 単位)
専門領域 86 単位 (必修 10 単位)	専門基礎科目	14 単位(必修 10 単位)
	専門科目	72 単位
上記に加え教養基礎領域・専門領域 から 14 単位		14 単位
卒業に必要な単位数		125 単位 (必修 20 単位)

3. 基礎とする免許・ 資格に基づき卒業 に必要となる単位 数

- 1) 小学校教諭 1 種免許状を科目履修上の基礎とする免許・資格として届出た者は、卒業までに p. 93 の表に定める履修要件に従い、小学校教諭 1 種免許状の指定科目から 76 単位以上修得する必要があります。
- 2) 幼稚園教諭 1 種免許状を科目履修上の基礎とする免許・資格として届出た者は、卒業までに p. 94 の表に定める履修要件に従い、幼稚園教諭 1 種免許状の指定科目から 59 単位以上修得する必要があります。
- 3) 保育士を科目履修上の基礎とする免許・資格として届出た者は、卒業までに p. 97 の表に定める履修要件に従い、教職免許状の指定科目から 59 単位以上修得する必要があります。

4. 他学科履修制度

本制度は、社会福祉の専門知識をより広く学修できる機会を提供することを目的として創設されました。これによって、他学科の教育課程にある専門領域の授業科目を一部履修することが可能となり、修得した単位は 14 単位を上限に卒業単位として認定されます。
本学科の他学科科目履修が可能な授業科目は以下の通りです。

科 目 名						
医学概論	社会調査論	社会福祉行政論	福祉計画論	社会福祉経営論	社会保障論 I	
社会保障論 II	高齢者福祉論	介護福祉論	障害者福祉論	公的扶助論	医療福祉論	
就労支援論	司法福祉論					

*但し、履修者数が学科の定員を超える場合は、履修できないことがあります。

IV-6 教職課程

1. 小学校教諭 1 種免許状

1. 小学校教諭 1 種免許状

日本の小学校の教員になるためには、小学校教諭免許状が必要です。小学校教諭免許状を取得するためには、取得したい免許状に対応した教職課程のある大学に入学し、法令で定められた科目及び単位を修得して卒業した後、各都道府県教育委員会に教員免許状の授与申請を行うことが必要です。

2. 小学校教諭の職務

「小学校教諭 1 種免許状」という国家資格を持つ人の職務は、「学校教育法」に基づいて定められています。

1 種免許状 小学校教諭	小学校教諭は、小学校において児童の教育をつかさどることを職務とする。
-----------------	------------------------------------

3. 小学校教諭 1 種免許状の指定科目

「小学校教諭 1 種免許状」の国家資格を得るためには、必ず履修しなければならない科目が決められています。文部科学省令で定める「指定科目」は p.93 の表のとおりです。

2. 幼稚園教諭 1 種免許状

1. 幼稚園教諭 1 種免許状

幼稚園教諭 1 種免許状取得には、4 年制大学で必要な単位を修得して卒業する方法、2 種免許取得後、教職経験を 5 年以上積み、その他一定の要件を満たして得る方法があります。本学科で所定の単位を修得し、各都道府県の教育委員会に申請すると、「幼稚園教諭 1 種免許状」を得ることができます。

2. 幼稚園教諭の職務

「幼稚園教諭 1 種免許状」という国家資格を持つ人の職務は、「学校教育法」に基づいて定められています。

1 種免許状 幼稚園教諭	幼稚園教諭は、幼稚園において園児の教育・保育をつかさどることを職務とする。
-----------------	---------------------------------------

3. 幼稚園教諭 1 種免許状の指定科目

「幼稚園教諭 1 種免許状」の国家資格を得るためには、必ず履修しなければならない科目が決められています。文部科学省令で定める「指定科目」は p.94 の表のとおりです。

3. 教職課程の指定科目

1. 小学校教諭 1 種免許状の指定科目一覧

指定科目		本学開講科目	単位	単位修得要件	指定科目	本学開講科目	単位	備考			
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	国語	2	37 単位すべて修得する	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	6 単位すべて修得する		
	社会	社会	2			教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	2			
	算数	算数	2			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	2			
	理科	理科	2			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2		教育心理学 2 単位を必ず修得する	
	生活	こどもと生活	2				発達心理学	2			
	音楽	こどもと音楽	1		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	20 単位すべて修得する			
	図画工作	こどもと美術	1		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2				
	家庭	家庭	2		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳理論と指導法		2		
	体育	こどもと体育	1			総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	国語科指導法			2	3 単位すべて修得する		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2
社会		社会科指導法	2	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論		2			
算数		算数科指導法	2	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談		2			
理科		理科指導法	2	教育実践に関する科目	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育実習指導	1				
生活		生活科指導法	2		教育実習	教育実習（幼・小）	4				
音楽		音楽科指導法	2		教職実践演習	教職実践演習（幼・小）	2				
図画工作		図画工作科指導法	2								
家庭		家庭科指導法	2								
体育		体育科指導法	2								
外国語		英語指導法	2								
大学が独自に設定する科目		小学校インターンシップⅠ	1	3 単位すべて修得する							
		小学校インターンシップⅡ	1								
		小学校インターンシップⅢ	1								
教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	2 単位必ず修得する	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	20 単位すべて修得する		
	体育	スポーツⅠ	1			教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2			
		スポーツⅡ	1	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2				
		健康スポーツ実践	1	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談	2				
		健康スポーツ論	1	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育実習指導	1				
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	2 単位すべて修得する		教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小）		4	20 単位すべて修得する
		英語Ⅱ	1				教職実践演習	教職実践演習（幼・小）		2	
	情報機器の操作	情報処理 A	1	2 単位すべて修得する							
情報処理 B		1									

2. 幼稚園教諭 1 種免許状の指定科目一覧

指定科目		本学開講科目	単位	単位修得要件	指定科目	本学開講科目	単位	単位修得要件			
領域に関する専門的事項	国語	日本語表現法	2	6 単位以上修得する ※1	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	6 単位すべて履修する		
		こどもと言葉	1				教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論		2	
	算数	算数	2					教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2
	生活	こどもと生活	2			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				教育心理学	2
	音楽	音楽	1				発達心理学			2	
		器楽	1				特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育		1	
		こどもの歌と伴奏	1			教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		
	こどもと音楽	1	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目					教育方法・技術論	2	15 単位すべて履修する	
	図画工作	こどもと美術					1		幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法
体育	こどもと体育	1		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2					
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	2		教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導	1			
		保育内容（健康）	2				教育実習（幼・小）	4			
		保育内容（人間関係）	2	教職実践演習		教職実践演習（幼・小）	2				
		保育内容（環境）	2								
		保育内容（言葉）	2								
		保育内容（表現）	2								
		障害児保育	2								
大学が独自に設定する科目		倫理学	2	※1							
		臨床心理学	2								
教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	2 単位必ず履修する							
	体育	スポーツⅠ	1	2 単位以上履修する							
		スポーツⅡ	1								
		健康スポーツ実践	1								
		健康スポーツ論	1								
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	2 単位すべて履修する							
		英語Ⅱ	1								
	情報機器の操作	情報処理 A	1	2 単位すべて履修する							
		情報処理 B	1								

※1 その他単位修得要件

上記 51 単位に加えて、さらに下記①～③から併せて 8 単位以上を修得。

- ① 「領域に関する専門的事項」 : 6 単位を超えて修得した単位
- ② 「大学が独自に設定する科目」 : 「倫理学」「臨床心理学」から修得した単位
- ③ 「教育の基礎的理解に関する科目」 : 「発達心理学」から修得した単位

IV-7 保育士の資格取得

1. 保育士の資格取得

1. 保育士資格

「保育士」は「国家資格」と呼ばれます。保育士資格取得には、厚生労働大臣の指定する保育士を養成する大学を卒業する方法、都道府県が実施する保育士試験に合格する方法があります。保育士として働く場合は、登録事務処理センターに保育士登録をする必要があります。本学科は国から養成校として認可を受けているので、本学科で資格取得に必要な科目を履修して卒業すると、「保育士」の「登録資格」を取得することができます。

2. 保育士の職務

「保育士」の国家資格を持つ人の職務は、次のように「児童福祉法」で定められています。

保育士	保育士は、登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを職務とする。
-----	---

2. 保育士の指定科目

1. 保育士の指定科目一覧

「保育士」の国家資格を得るためには、必ず履修しなければならない科目が決められています。厚生労働省令で定める「指定科目」は以下のとおりです。

本学科において「指定科目」を修めるためには、次の表に示す科目を履修し、単位を修得してください。

指定科目			本学開講科目		単位数	指定科目			本学開講科目		単位数
教養科目	外国語・体育以外の科目	聖隷の理念と歴史	2	6 単位以上を履修する	すべて履修する	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	2		
		キリスト教概論	2				教育原理	2			
		心理学	2				子ども家庭福祉	児童・家庭福祉論	2		
		レクリエーション概論	2				社会福祉	社会福祉学概論Ⅰ	2		
		法学	2				子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	2		
		日本国憲法	2				社会的養護Ⅰ	社会的養護Ⅰ	2		
		社会学	2				保育者論	保育者論	1		
	外国語	英語Ⅰ	1	教職概論		2					
		英語Ⅱ	1	保育の対象の理解に関する科目		保育の心理学	発達心理学	2			
		中国語	1			子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	2			
	体育	健康スポーツ論	1			健康スポーツ論を含み 2 単位以上を履修する	子どもの理解と援助	幼児理解の理論と方法	1		
		健康スポーツ実践	1				子どもの保健	子どもの保健	2		
		スポーツⅠ	1				子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	2		
		スポーツⅡ	1				保育の計画と評価	保育の計画と評価	1		
		保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論			2	教育課程論	2			
			保育内容演習	保育内容総論		2	保育内容(健康)	2			
				保育内容(言葉)		2					
				保育内容(人間関係)		2					
保育内容(環境)				2							
保育内容(表現)				2							
保育内容の理解と方法			こどもと言葉	1	保育内容(言葉)	2					
		こどもと音楽	1	保育内容(人間関係)	2						
		こどもと体育	1	保育内容(環境)	2						
		こどもと美術	1	保育内容(表現)	2						
保育実習		乳児保育Ⅰ	2	6 単位以上を履修する	こどもと言葉	1					
		乳児保育Ⅱ	1		こどもと音楽	1					
		子どもの健康と安全	1		こどもと体育	1					
		障害児保育	2		こどもと美術	1					
		社会的養護Ⅱ	1		乳児保育Ⅰ	2					
		子育て支援	1		乳児保育Ⅱ	1					
		保育実習Ⅰ	2		子どもの健康と安全	1					
総合演習		保育実習Ⅰ	2	6 単位以上を履修する	障害児保育	2					
	保育実習指導Ⅰ	2	社会的養護Ⅱ		1						
保育の本質・目的に関する科目	(各保育士養成施設において設定)	保育実践演習	2	子育て支援	1						
		キリスト教教育	1	保育実習ⅠA	2						
		キリスト教保育	1	保育実習ⅠB	2						
		キリスト教社会福祉	1	保育実習指導Ⅰ	2						
		ソーシャルワーク論Ⅰ	2	保育実践演習	2						
		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	6 単位以上を履修する	キリスト教教育	1					
		教育心理学	2		キリスト教保育	1					
		臨床心理学	2		キリスト教社会福祉	1					
		多様な子どもの理解	2		ソーシャルワーク論Ⅰ	2					
		音楽	1		ソーシャルワーク演習Ⅰ	2					
こどもと生活	2	教育心理学	2								
こどもの歌と伴奏	1	臨床心理学	2								
器楽	1	多様な子どもの理解	2								
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	多様な子どもの支援	2	音楽	1						
		保育実習Ⅱ	2	こどもと生活	2						
		保育実習Ⅲ	2	こどもの歌と伴奏	1						
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	器楽	1						
			2 単位以上を履修する	1 単位以上を履修する							

3. 保育士を科目履修上の基礎とする免許・資格として届出た者が必ず取得すべき教職免許状指定科目

保育士を科目履修上の基礎とする免許・資格として届出た者は卒業までに下記の履修要件に従い、教職免許状の指定科目から 59 単位以上修得する必要があります。

指定科目		本学開講科目	単位	単位修得要件
小学校教科に関する専門的事項および幼稚園領域に関する専門的事項	国語	国語	2	13 単位以上修得する※1
		日本語表現法	2	
		こどもと言葉	1	
	社会	社会	2	
	算数	算数	2	
	理科	理科	2	
	生活	こどもと生活	2	
	音楽	音楽	1	
		器楽	1	
		こどもの歌と伴奏	1	
		こどもと音楽	1	
	図画工作	こどもと美術	1	
	家庭	家庭	2	
	体育	こどもと体育	1	
	外国語	こどもと英語	2	
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		保育内容総論	2	14 単位すべて履修する
		保育内容（健康）	2	
		保育内容（人間関係）	2	
		保育内容（環境）	2	
		保育内容（言葉）	2	
		保育内容（表現）	2	
		障害児保育	2	
教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2	2 単位必ず履修する
	体育	スポーツⅠ	1	2 単位以上履修する
		スポーツⅡ	1	
		健康スポーツ実践	1	
		健康スポーツ論	1	
	外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	1	2 単位すべて履修する
		英語Ⅱ	1	
	情報機器の操作	情報処理 A	1	2 単位すべて履修する
		情報処理 B	1	

指定科目		本学開講科目	単位	単位修得要件
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	6 単位すべて履修する
		教職概論	2	
		教育制度論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育心理学	2	教育心理学 2 単位を必ず履修する※1
		発達心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1	8 単位すべて履修する
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	2	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論	2	
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解の理論と方法	1	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	2	

※1 その他単位修得要件

上記 51 単位に加えて、さらに下記①、②から併せて 8 単位以上を修得。

- ①「小学校教科に関する専門的事項」および「幼稚園領域に関する専門的事項」：13 単位を超えて修得した単位
- ②「教育の基礎的理解に関する科目」：「発達心理学」から修得した単位

IV-8 その他の資格取得

1. 社会福祉主事

1. 社会福祉主事とは

社会福祉主事は、社会福祉行政の第一線の現業機関である福祉事務所で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり福祉事務所の職員として任用される時に必要となります。

2. 指定科目

以下の科目から、3科目以上履修すれば付与されます。
「保育原理」「児童・家庭福祉論」「教育学」「法学」「心理学」「社会学」

2. 児童指導員

1. 児童指導員とは

児童指導員は、児童福祉施設で仕事をする際に必要となる資格です。この資格は「任用資格」とよばれ、公務員になり児童福祉施設の職員として任用される時に必要となります。

2. 指定科目

「指定科目」はありません。本学科を卒業すれば自動的に付与されます。

3. 初級障がい者スポーツ指導員

1. 初級障がい者スポーツ指導員とは

初級障がい者スポーツ指導員は、障がい者のスポーツ参加のきっかけ作りを支援する指導員です。健康や安全管理に配慮した指導を行い、スポーツの喜びや楽しさを伝える役割を担います。地域の大会や教室など、スポーツ現場におけるサポートを行います。

この資格は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の「認定資格」です。公益財団法人日本障がい者スポーツ協会は1964年東京パラリンピックを契機に設立された、日本国内の障がい者スポーツの統括組織です。

資格取得後は、経験を積み講習会を受講することで中級・上級指導員にステップアップできます。

2. 指定科目

本学科でこの資格を取得するには、「指定科目」を履修し、登録する必要があります。

基準カリキュラム	必要 時間数	本学開講科目	単位	備考
障がい者福祉施策と障がい者スポーツ	2	社会福祉学概論Ⅰ	2	
		アダプテッド・スポーツ	2	
ボランティア論	2	ボランティア論	1	＊＊
障がい者スポーツの意義と理念	2	アダプテッド・スポーツ	2	＊
安全管理	1			
障がいの理解とスポーツ	5			
(公財)日本障がい者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導者制度	1			
全国障害者スポーツ大会の概要	1			
障がいに応じたスポーツの工夫・実施（実技）	2			
障がい者との交流（実技）	2	地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ	1	＊＊＊

＊ 「アダプテッド・スポーツ」は、1年次秋 semester 開講科目です。2年次生以降に履修することも可能です。

＊＊ 「ボランティア論」は1年次春 semester または2年次春 semester に履修しましょう。

＊＊＊ 「地域実践アクティブラーニングⅠ・Ⅱ・Ⅲ」はアダプテッド・スポーツについて、1単位以上履修してください。
実際に、地域のアダプテッド・スポーツ活動に参加します。